

未来のために私たちができること  
環境と調和そして共存へ

30<sup>th</sup>  
Anniversary



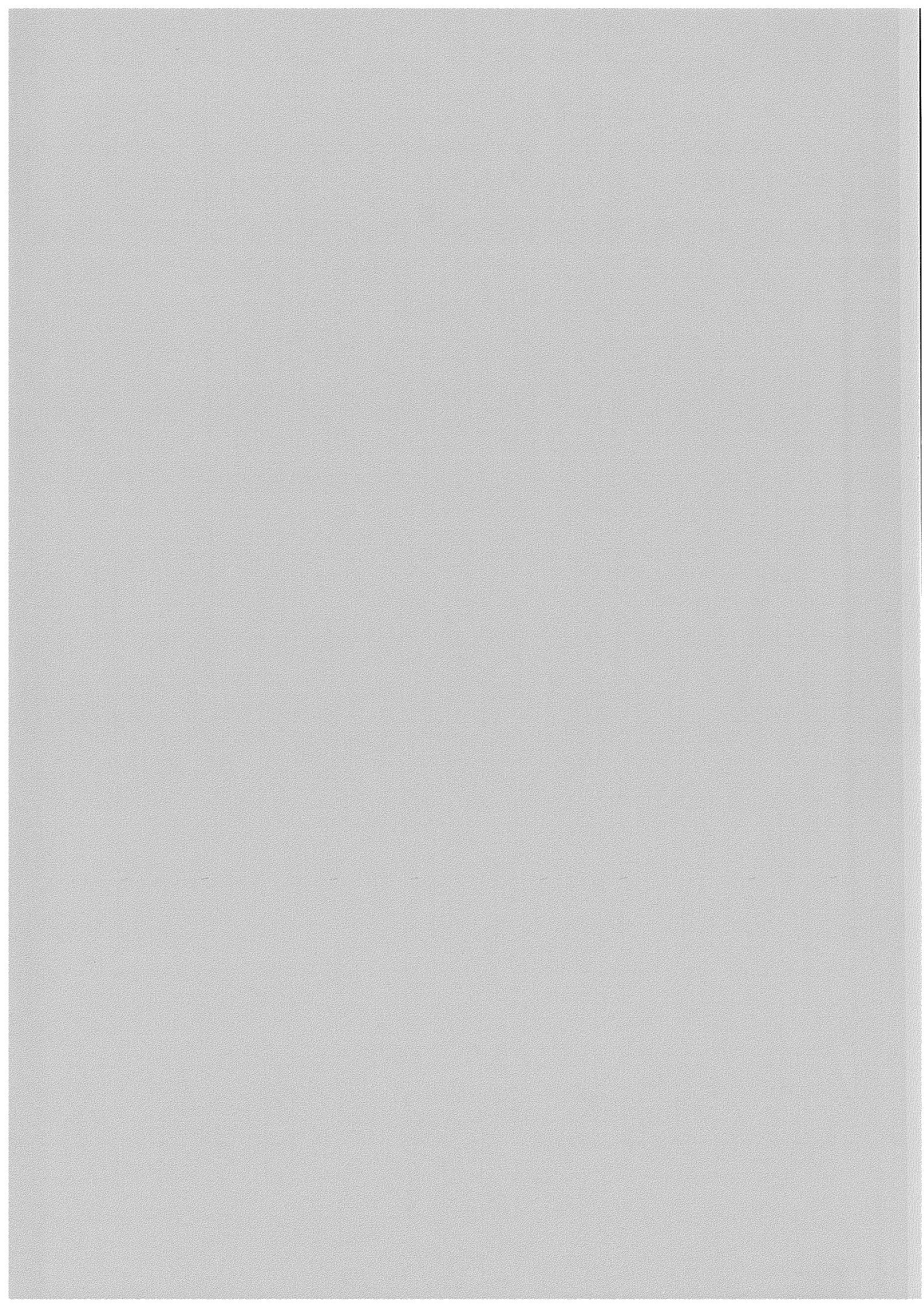
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

一般社団法人  
愛知県産業資源循環協会

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

<http://www.aisanky.com> E-mail:[info@aisanky.com](mailto:info@aisanky.com)





---

## 倫理綱領

---

公益社団法人全国産業資源循環連合会正会員協会に所属する会員(産業廃棄物処理業許可業者)は、産業廃棄物の適正処理を推進することにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることが使命である

- 一 会員は、法令及び法令に基づく行政の指導事項を遵守し、環境保全のため社会的良識をもって行動する
- 一 会員は、法令、実務に精通するよう研鑽をつみ、資質の向上に努める
- 一 会員は、環境保全を担う企業として安全性に配慮し、次の指針に基づき経営にあたらなければならない
  - (一) 産業廃棄物処理業許可業者は、適正処理の推進のための技術並びに経営サービスの向上に不断に努める
  - (二) 産業廃棄物処理業許可業者は、適正な価格を維持し、市場の健全化に努めなければならない
- 一 会員は、排出事業者はもとより、行政、関係団体、地域住民と広くコミュニケーションを行い、環境に関する情報を積極的かつ公正に開示し、社会の理解と信頼を高めるように努めなければならない
- 一 会員は、暴力団等及びその関係者を排除し、断固とした姿勢で対応する

公益社団法人全国産業資源循環連合会及び各正会員協会は、不法投棄等不適正処理が発生しないよう未然防止、啓発、教育に努めなければならない

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



未来のために私たちができること  
環境と調和そして共存へ



協会30年の歩み



## 目次

### ごあいさつ

(公社)全国産業資源循環連合会会長	
(一社)愛知県産業資源循環協会会長	永井 良一…………… 5

### 祝辞

愛知県知事	大村 秀章…………… 6
名古屋市長	河村たかし…………… 7
環境省中部地方環境事務所長	秀田 智彦…………… 8
豊橋市長	浅井 由崇…………… 9
岡崎市長	中根 康浩…………… 10
一宮市長	中野 正康…………… 11
豊田市長	太田 稔彦…………… 12
(一社)岐阜県産業環境保全協会理事長	澤田 裕二…………… 13
(公社)静岡県産業廃棄物協会会長	鈴木 洋佑…………… 14
(一社)三重県産業廃棄物協会会長	井上 吉一…………… 15

役員……………	16
支部役員……………	18
歴代役員……………	26
協会30年の歩み……………	28
協会の概要……………	40
協会の事業紹介……………	42
協会のSDGsへの取り組み……………	50
表彰一覧……………	52
協会資料……………	56
編集後記……………	57



# 協会設立30周年を迎えて



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



(公社)全国産業資源循環連合会会長  
(一社)愛知県産業資源循環協会会長

永井 良一

協会設立30周年記念にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当協会は、昭和51年(1976年)に発足した愛知県産業廃棄物処理事業協同組合を発展的に解消し、平成3年(1991年)7月に「社団法人愛知県産業廃棄物協会」として法人化しました。平成24年(2012年)4月には公益法人制度改革に伴い、「一般社団法人愛知県産業廃棄物協会」に、令和3年(2021年)1月1日には、より一層の資源循環の担い手となるよう「一般社団法人愛知県産業資源循環協会」に名称を変更し、令和3年7月に記念すべき30周年を迎えることができました。

こうした日を迎えることができたのも、日頃から協会の皆様の結束とご協力によるものであり、また、行政機関並びに関係諸団体の皆様の大きなご支援の賜物と心より厚く感謝申し上げます。

当協会は、日々排出される多種多様な産業廃棄物の適正処理や、これらを有効資源として効率的に循環させるための基幹産業団体として、資源化・リサイクルの取り組みを積極的に推進しているところであり、製造品出荷額等が昭和52年から42年連続日本一を続ける「ものづくり愛知」を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界団体であります。

また、近年、頻繁に発生する自然災害によって発生する災害廃棄物の処理においても、当業界は重要な役割を担っており、当協会では、令和元年東日本台風(台風19号)による豪雨災害で被害にあった長野県千曲市の災害廃棄物の処理について、仮置場の管理から収集運搬・処分まで会員相互の協力の下、協会として全国初の広域支援を行ったところで、今後とも使命感を持って取り組んでまいりたいと考えております。

さらに、昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いておりますが、廃棄物処理に関係する事業者は「国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者」として位置付けられ、関係者の皆様には、引き続き安定的に廃棄物処理を進めるため、感染防止対策を適切に講じて頂き、業界全体でこの難局を乗り越えていかなければならないと考えております。

さて、公益社団法人全国産業資源循環連合会では、産業資源の循環的な利用を促進する上で、産業廃棄物処理産業が処理の「受け手」から資源等の「創り手」へ一層変わることによって業界の発展に繋がると考え、足かけ6年をかけて「産業資源の循環的な利用を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案」を作成し、議員立法として制定していくために、関係機関等に対して働きかけを行い、業界発展のために尽くしていきたいと考えております。

当協会としては、30周年という節目を迎え、循環型社会の形成は基より、脱炭素社会の実現等さらなる社会的要請に応じて大きく飛躍できるよう活動してまいっている所存ですので、今後とも、会員の皆様始め関係各位のより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



## 協会設立30周年に寄せて



愛知県知事  
大村 秀章

一般社団法人愛知県産業資源循環協会が設立30周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

永井会長はじめ会員の皆様方には、日頃から県行政の推進に格別の御理解と御支援を賜りますとともに、産業廃棄物の適正処理の徹底、リサイクルの推進などの取組を通じまして、「環境首都あいち」の実現に向けて、御協力と御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。これまで協会運営に御尽力された歴代役員並びに関係各位に対しましても、深く敬意を表する次第です。

貴協会は、1991年に社団法人愛知県産業廃棄物協会を設立されて以来、関係機関との密接な連携の下、産業廃棄物に関する全国レベルでの情報の収集や発信、各種研修会等による会員企業のモラルや技術力の向上、不法投棄防止パトロールの実施など様々な事業に注力されてきました。

本県との関係では、2016年に発覚した食品廃棄物の不適正処理事案における廃棄物の撤去・処分に、協会の皆様方に格別の御協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

また、2019年の台風19号で発生した長野県千曲市の災害廃棄物の広域処理に関して、協会の皆様方に、現地仮置場での廃棄物の分別作業から収集・運搬、県内での資源化、焼却、埋立等の処理を迅速かつ適正に実施し、被災地の復興の一助を担っていただき、重ねて感謝申し上げます。

さて、世界は、新型コロナウイルスの感染拡大、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展など刻々と変化しています。本県が我が国の発展をリードし続けるためには、変化に的確に対応し、新たな付加価値を生み出していかなければなりません。

こうした中、資源循環の分野では、本県のポテンシャルを生かした新たな広域循環モデルの具体化を図るとともに、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」成立の動向や、外国政府による使用済みプラスチックの輸入規制、海洋プラスチックごみ問題等も踏まえ、プラスチックの資源循環と適正処理体制の構築に向けた取組を推進してまいります。

貴協会におかれましては、日々排出されるプラスチックを始めとする多種多様な廃棄物の適正処理や、これらを有効な資源として効率的に循環させるための基幹産業の団体として、日本一の産業県である本県を支える重要な役割を担っていただいております。

この1月には「愛知県産業廃棄物協会」から「愛知県産業資源循環協会」に名称変更されたところであり、本県の循環型社会形成に向け、益々の御活躍を期待しているところです。

終わりに、愛知県産業資源循環協会の益々の御発展と皆様方の一層の御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



名古屋市長  
河村 たかし

一般社団法人愛知県産業資源循環協会が、設立30周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

平素は、貴協会の皆様には、名古屋市の環境行政の推進に深いご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

思い返せばこの30年、大量生産・大量消費・大量廃棄の時代から循環型社会の形成へと我が国は大きく舵を切り、持続可能な社会を目指して、関連する法律も廃棄物処理のスタイルも変遷してまいりました。本市においても、藤前干潟の埋立処分場計画の断念からごみ非常事態宣言を経て、はや20年余が経過したところです。この間、徹底した分別・リサイクルの取り組みにより、大幅なごみ減量を達成することができました。これもひとえに、市民・事業者の皆様のご協力の賜物と感謝しております。

本市は、令和元年7月1日、内閣府から持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた取組を先導的に進めていく自治体「SDGs未来都市」に選定されました。

また、同年10月に公表した名古屋市総合計画2023では、SDGsの理念を踏まえ、経済・社会・環境が調和した持続可能なまちづくりを積極的に進めることとし、本市が実現をめざす将来のまちの姿を、5つの都市像として描いております。そのうち都市像4では「快適な都市環境と自然が調和したまち」を掲げ、環境にやさしい低炭素で循環型のまちを目指すこととしております。

令和3年1月から「資源循環」の名称を冠することとなりました貴協会の豊富な知見をお借りしながら、新時代の持続可能な社会をともに切り拓いてまいりたいと存じます。

ご承知の通り、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民生活や事業活動に大きな影響が及んでいます。本市は、新型コロナウイルス感染症に対して迅速に検査・医療に結び付けられる体制の構築と、市民の皆様の経済と暮らしを全力で支えることに懸命に取り組んでまいりました。

コロナ禍において事業や生活を取り巻く環境が激変する中でも、廃棄物処理や資源循環の現場を止めるわけにはまいりません。エッセンシャルワーカーとして先頭に立ち、市民の生活を支えていただいている皆様のご尽力に深く感謝を申し上げますとともに、今後も変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

設立30周年という節目を迎えられた貴協会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご活躍を心から祈念します。



## 協会設立30周年に寄せて



環境省中部地方環境事務所長

秀田 智彦

新しい社会の「主役」として、次の10年に向けた歩みを!

一般社団法人愛知県産業資源循環協会設立30周年おめでとうございます。貴協会は、今日まで、産業廃棄物の適正処理及び再生利用の推進に率先して取り組み、愛知県を中心とした地域の産業や人々の生活を支える「静脈産業」として、環境保全、公衆衛生、資源の有効活用等を通して、社会福祉の向上に貢献してこられました。

私のここ3年弱の中部地方勤務で最も印象に残っている貴協会の取組は、やはり令和元年東日本台風による災害廃棄物の処理支援です。御承知のとおり、災害廃棄物は、一般廃棄物とされ、市町村がその処理に責任を負うことになっていますが、災害規模が大きくなると、一市町村の手に余り、その処理の遅れは、直ちに復旧・復興の妨げとなってしまいます。今回は、豪雨で千曲川の堤防が決壊し、長野市や千曲市を中心に広範囲に浸水したため、災害廃棄物の発生量が、長野県だけでは対応できないものとなり、近隣県に支援要請が出て、富山、愛知、三重の3県が処理の支援をすることとなりました。愛知県では、貴協会及び会員企業の皆様が対応してくださることになり、県境の垣根を越えて産業廃棄物処理のノウハウを活かし、手探り状態の数々の苦労の中、災害廃棄物の仮置場の管理運営から愛知県内への運搬・処理・処分まで、熱い思いを持って取り組まれ、千曲市の広大なグラウンドいっぱいに広がっていた1,800tを超える廃棄物の処理を完了されました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

近年、我が国でも豪雨災害に見舞われる頻度が高まっており、地球温暖化の影響も言われています。2050年カーボンニュートラル等、脱炭素社会の実現が急がれていますが、そのためのステップとして、サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行が必要とされています。これは、従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」のリニアな経済（線形経済）に代わる、製品と資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小化した経済のことで、従来の3Rを、循環性と収益性を両立する新しいビジネスモデルの広がりも踏まえ、持続可能な経済活動として捉え直したものです。この社会の実現には、貴協会のこれまでの取組を通じて蓄積された数多くのノウハウが必ずや活かされるはずです。次の10年、持続可能な新しい経済社会の「主役」として、貴協会がこれまで以上に胸を張って歩まれる姿を想像しています。

令和3年6月寄稿



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



豊橋市長  
浅井 由崇

一般社団法人愛知県産業資源循環協会が、記念すべき設立30周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、産業廃棄物を取り巻く環境が大きく変わる中、30年の永きにわたり、県内における産業廃棄物の適正処理の要として多大なる貢献をいただいております。令和3年1月には協会の名称を愛知県産業廃棄物協会から愛知県産業資源循環協会に変更され、より一層の産業廃棄物の資源循環にご尽力いただいていることに深く敬意を表します。

さて、去る令和元年10月13日に長野県を襲った台風19号は、千曲川の堤を決壊するなど甚大な被害を及ぼしました。この災害では、長野県の推計で災害廃棄物が約26万トン生じましたが、廃棄物処理の広域連携の一環として、貴協会におかれましても災害廃棄物の広域処理に多大なるご協力いただきましたことを、改めて感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症が全国で猛威を振るい、変異型のウイルスも生じるなど予断を許さない状況が続いている一方、これにより発生した産業廃棄物を始めとした廃棄物の適正処理については、社会を支える非常に大切な仕事であり、サービスを滞りなく提供する必要があります。

貴協会の皆様におかれましては、日頃より従業員の感染防止対策の徹底やクラスターが発生した際の事業継続計画の作成、また研修会の充実等、これまで経験したことのない事態の中で、大変なご苦勞をされているかと案じております。

こうした中、本市では本年3月に、今後10年間の本市の産業廃棄物の適正処理を推進するための基本的事項を定めた「産業廃棄物処理基本計画」を組み込んだ「第二次豊橋市廃棄物総合計画」を策定しました。本計画では、市民、排出事業者、処理業者、行政が一体となって循環型社会の形成や環境負荷削減の意識を持って行動することを目指しております。貴協会を始め関係者の皆様におかれましては、本計画の趣旨をご理解いただき、引き続きお力添えを賜りたく存じます。

最後になりますが、愛知県産業資源循環協会のますますの発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



## 協会設立30周年に寄せて



岡崎市長  
中根 康浩

一般社団法人愛知県産業資源循環協会が設立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から産業廃棄物の適正処理、パトロール活動、各種研修等を通じて、生活環境の保全と公衆衛生の向上のために多大なる御貢献をいただいております、その御尽力に敬意を表します。

また、平成24年の災害時における廃棄物処理等に関する協定締結以降、本市における災害廃棄物処理の一翼を担っていただいております、昨今の新型コロナウイルス感染拡大が続く状況においても、日々、徹底した感染防止対策を行いながら、最前線で廃棄物処理に御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

貴協会が設立された平成3年当時は、バブル景気における大量生産、大量消費を背景に、廃棄物の問題が拡大し、大規模不法投棄の発生や最終処分場が逼迫した状況でした。設立から30年が経過した現在、廃棄物の適正処理に留まることなく、排出抑制、再生利用へと大きく舵が切れ、度重なる廃棄物処理法の改正があり、各種リサイクル制度も構築されてきました。また、PCB廃棄物の期限内処理、プラスチックリサイクルといった時代に即した新たな課題にも直面するなど、廃棄物を取り巻く環境は今も変化し続けております。

本市は、2020年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。自然の恵みを次世代へ引き継ぐ、持続可能な循環型社会『環境共生都市 岡崎』をビジョンとし、今年3月に策定した第2次岡崎市環境基本計画においても、5つの環境目標をSDGsのゴールとターゲットに結び付け、計画的に施策を推進し、積極的に目標の達成を目指してまいります。

本市における廃棄物の適正処理及びリサイクルに資する施策や指導啓発には、貴協会及び会員の皆様の協力が必要不可欠です。これまで培ってこられた知見、技術、ネットワークを活かし、より一層の御尽力を賜いますことをお願い申し上げます。

最後になりますが、記念すべき30周年という節目を機に、会員の皆様相互の連携を一層強めていただくとともに、貴協会が益々発展されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



一宮市長  
中野 正康

この度、一般社団法人愛知県産業資源循環協会が設立30周年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

また、貴協会におかれましては、産業廃棄物の適正処理と再生利用を推進され、生活環境の保全と公衆衛生の向上に大きくご貢献いただいておりますことに対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

30年前、バブル経済期までの我が国は、大量生産・大量消費・大量廃棄という社会経済システムが主流となり、物質的な豊かさを追求することにより経済発展してまいりました。しかし、自然環境への多大な負荷などが大きな問題となり、現代では、環境と経済が統合する循環型の経済システムに転換することを目指す低炭素・循環型社会の実現が求められています。

平成27年に国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)が注目され、市民・社会からの環境配慮に対する要請が急速に高まっています。環境への関心は企業活動の変革をも強く促しており、こうした循環型経済システムへの転換が世界での共通認識となりました。この目標達成のために産業廃棄物業界が担う役割はたいへん重要なものであり、環境に配慮した形で持続可能な成長を目指す低炭素・循環型社会を支える大きな礎として、産業廃棄物業界への期待は今後ますます大きくなっていくと思われまます。

近年、地震や風水害などの自然災害が頻発し、その際に発生する災害廃棄物の処理が全国的な課題となっています。地震災害に関しては、愛知県全域が「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定され、巨大地震の発生が危惧されています。貴協会との間では、平成25年9月に「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」を締結させていただき、大規模災害発生時の協力体制が構築され、たいへん心強く感じております。また、本市では平成29年7月に「災害廃棄物処理計画」を策定し、災害廃棄物を適正かつ迅速に処理する体制づくりに努めています。

本市は、市制施行100周年という大きな節目の年である本年4月に尾張地域で初の中核市となり、産業廃棄物行政を担うこととなりました。誰もが、訪れたい、住んでみたいと思う魅力あるまちづくりに取り組むには、市民の良好な生活環境を守ることが重要です。そのためには、貴協会との連携が不可欠でありますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今後とも循環資源として有用な廃棄物の利用推進と適正な廃棄物処理へのご協力をお願いいたしますとともに、貴協会のますますの発展と会員の方々のさらなるご活躍を心から祈念申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。



## 協会設立30周年に寄せて



豊田市長  
太田 稔彦

このたび、一般社団法人愛知県産業資源循環協会が創立30周年を迎えられ、ここに記念誌が発刊されますことは誠に意義深く、心よりお喜び申し上げます。

貴協会は、平成3年7月に、産業廃棄物の適正処理の徹底、並びに再生利用の推進に取り組む県内の産業廃棄物処理業者を核とし発足されました。発足以来、産業廃棄物の発生の抑制と適正処理を推進し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図り、資源循環型社会への取り組みに対し、大きな責務を持ち、その役割を果たしていただいております。また、ものづくり産業の集積地である本地域において、廃棄物を回収して再生・再利用、処理・処分などを行う静脈産業の旗振り役として、高度循環型社会の実現に向け多大な貢献をいただいております。

本市は、今年で市制施行70周年の節目の年を迎え、本市の新しい未来に向けて新たなスタートを切ったところです。地球温暖化の進行がもたらす豪雨などの異常気象の増加や、南海トラフ地震などの巨大地震の発生による災害廃棄物の処理、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による「新たな日常」の構築、産業構造の大転換による産業廃棄物処理の対応の必要など、前例の無い時代の転換点において、今後の産業廃棄物行政の在り方に大きな変化が求められています。廃棄物分野においては、産業廃棄物を有用資源として効率的に循環させる資源循環型社会の構築により、環境負荷を低減させるため、貴協会とも連携して、産業廃棄物の適正処理の推進に取り組んでまいりたいと考えております。

さて、本市は、2018年にSDGs未来都市に選定され、「みんながつながる ミライにつながるスマートシティ」の実現に向けて取り組んでいます。2019年には2050年におけるCO2排出量実質ゼロを目指す、ゼロカーボンシティを表明しました。これまで環境モデル都市として先駆的に取り組んできた知見を活用し、広大な市域で、本市が抱える都市と山村の2面性を強みとして、企業や市民と連携して地域課題の解決や市民の暮らしの改善に取り組み、SDGs達成に向け、持続可能なまちづくりをめざしております。その実現に向けて、貴協会の役割は大きく、引き続き、本市発展のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

おわりに、貴協会の益々の隆盛と、協会員の皆様のご活躍とご健勝を大いに期待しまして、設立30周年のお祝いの言葉といたします。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



(一社) 岐阜県産業環境保全協会理事長  
澤田 裕二

一般社団法人愛知県産業資源循環協会が設立30年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、平成3年7月に社団法人愛知県産業廃棄物協会として設立以来、産業廃棄物業界の健全な発展をめざして、優良処理業者の育成、企業の社会的責任としてのCSR活動をはじめとする産業界や地域のニーズに応じた特色のある事業の積極的な取り組みや、排出事業者への周知啓発活動などに努められ、産業廃棄物処理の基盤となります産業廃棄物の適正処理、資源循環型社会の形成に多大な成果を上げてこられました歴代会長をはじめ、役員の方々、会員の皆様の長年にわたるご尽力に心から敬意を表します。

また、中部地域協議会の会長県として、中部地域を牽引していただきましたことに感謝申し上げます。

さて、令和2年1月に、日本国内での新型コロナウイルス感染が確認されてから、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、社会・経済に甚大な影響を与えており、私ども産業廃棄物を取り巻きます環境も厳しい状況が続いておりますが、アフターコロナを見据え、協会事業の在り方を検討していかなければならないと考えています。

とりわけ、昭和東南海地震及び昭和南海地震が起きてから70年近くが経過しており、南海トラフ巨大地震発生の切迫性が高まってきている中で、大規模災害から発生する大量の災害廃棄物の処理が課題となっていますので、私ども産業廃棄物の処理に関わる協会の役割はますます重要になるものと考えています。

貴協会におかれましては、愛知県内全54市町村との災害時における廃棄物の処理等に関する協定を締結し、災害廃棄物処理支援体制を構築されています。処理支援体制が整備された貴協会では、令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた長野県千曲市の災害廃棄物処理支援に迅速な対応により多大な貢献をされました。

支援に対する経験を、今後発生が想定される大規模災害に備え、近隣協会と連携し、中部地域の要として、迅速な災害廃棄物処理を牽引していただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般社団法人愛知県産業資源循環協会が、設立30周年という意義深い年を契機に次の10年に向け、益々のご発展とご活躍を祈念しまして、祝辞とさせていただきます。



## 協会設立30周年に寄せて



(公社) 静岡県産業廃棄物協会会長  
鈴木 洋佑

一般社団法人愛知県産業資源循環協会が設立30周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴協会会員の皆様は、製造品出荷額等日本一を続ける愛知県の産業活動を長きにわたり支えてこられたのみならず、下水道から排出される汚泥や医療機関から排出される廃棄物の処理など県民の皆様の健康な生活の実現に多大な貢献をされてこられました。

これも、貴協会が会員を一つにまとめ、排出事業者とも連携しながら活動してきた賜物と、永井会長様はじめ歴代役員及び会員の皆様のご努力に深く敬意を表する次第であります。

業界を取り巻く状況は、大量生産・大量消費社会が終焉し、限られた資源を有効に利用する循環型社会の構築や温室効果ガス排出実質ゼロを目指すことのほか、海洋汚染をもたらす廃プラスチックへの対応など地球規模の視点で活動することが求められています。

産業廃棄物処理産業は、これまで適正処理を前提に廃棄物の処理を通じて資源化や熱エネルギーの有効利用に努めてまいりました。これをさらに推進していくためには、人材の育成や新たな技術開発に加え、日本の処理技術を広く海外にも普及させ、まさに地球規模の課題に応じて行く必要があります。

幸い、永井会長が会長を務められる(公社)全国産業資源循環連合会では、各県協会と力を合わせ、産業廃棄物処理産業の振興法案の制定を実現し、こうした課題に応えるべく一歩を踏み出しました。当協会でも、貴協会とともに振興法案の制定に向け努力して参ります。

貴協会では、平成9年の名古屋市との大規模災害時の協定調印を皮切りに、その後愛知県やすべての市町村との災害時廃棄物処理の協定を締結されたほか、平成9年のナホトカ号重油流出災害への対応、平成12年の東海豪雨災害への対応で感謝状や功労者表彰を授与されています。

さらに、令和元年には、東日本を襲った台風19号の災害に遭った長野県千曲市の災害廃棄物の処理を広域支援されました。近年、熊本地震や西日本豪雨など大規模災害が続き、災害廃棄物の処理は大手事業者を軸にした支援体制をとることが多かったのに対し、貴協会では永井会長のリーダーシップのもと、全国で初めて協会として多くの会員の協力を得て支援を実現されました。毎年のように起こる災害に対して、市町村、県、国といった行政機関だけでなく、被災した住民から寄せられる災害廃棄物の処理への期待は大きなものがあります。貴協会や会員の皆様は、地域の環境保全にとどまらず、広域的な環境保全にも大きく貢献されてきました。

結びに、貴協会が多くの期待に応えられ、益々ご発展されるとともに、会員の皆様がさらにご活躍されますようお祈りしまして、お祝いの言葉といたします。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



(一社) 三重県産業廃棄物協会会長  
井上 吉一

この度、一般社団法人愛知県産業資源循環協会が協会設立30周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平成3年度に設立されて以来、産業廃棄物処理業者を核とした公益法人として、循環型社会の成熟に向けた取組を進めてこられましたことに敬意を表します。

振り返りますと、貴協会が設立された平成3年は、廃棄物処理法の抜本改正により、従来の処分中心の処理から、新たに廃棄物の排出抑制やリサイクルが目的に加わり、循環型社会の構築を目指す端緒となった年でもあります。以来、貴協会におかれましては、不法投棄の防止やダイオキシン類対策、処分場の確保など、様々な課題に直面する中で、産業廃棄物処理の新たな潮流の中を適正処理や3Rの推進に資する様々な活動に取り組まれ、邁進されてこられました。

また、この30年間に於いて、ナホトカ号重油流出災害や食品廃棄物の不適正保管に係る処理作業など、大きな社会問題となった環境事案に対しても、その対応に率先して取り組まれ、最近では、令和元年東日本台風に伴う大規模災害の復旧に際し、長野県千曲市における災害廃棄物処理事業にいち早く着手し、当協会も共同して取り組まさせていただいたところです。

加えて、このコロナ禍においては、産業廃棄物業界は地域を支えるインフラとしての重要性が再認識され、まさに、これまでの地道な活動が評価されつつあるとともに、期待される社会的な役割も大きくなってきていると考えられます。

今後も、SDGsやデジタル社会の到来など、社会の変革に対応していくことが求められ、かかる課題への業界のイニシアティブが重要となっておりますので、貴協会におかれましては、中部地域の要の一員としてさらなるご活躍を期待しております。

最後になりましたが、一般社団法人愛知県産業資源循環協会のますますの御発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。



## 役員（令和3年6月23日時点）

会 長



永井 良一  
永一産商(株)

副 会 長



近藤 千雅  
中部保全(株)

副 会 長



中野 兼司  
（株）東伸サービス

専務理事



堀部 隆司  
（一社）愛知県産業資源循環協会

常務理事



新美 三良  
（有）三洋サービス

常務理事



伊藤 泰雄  
（株）ダイセキ

理 事



新家 義彦  
（有）ホクトサービス



金田 英和  
サンコーリサイクル(株)



富田 昭夫  
（株）富田商店



相木 徹  
オオブユニティ(株)



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 理事



松井 忠博  
(有)松井工業



金田 英治  
三洲土木(株)



中嶋 政秋  
長坂建設興業(株)



土田 浩通  
(一社)愛知県建設業協会



東久保 真弓  
(有)愛知環境センター



清水 善実  
(株)シミズ



山本 浩也  
(株)ダイセキ環境ソリューション



南村 朋幸  
大和エンタープライズ(株)



梅谷 岳志  
(有)花丘商事



鬼頭 秀幸  
(有)リサイクリング産業



藤原 亮輔  
アロン化成(株)



金田 琳  
サンコーリサイクル(株)

## 監事



鶴山 圭一  
(株)星野産商



丹羽 庸介  
(株)鈴鍵

## 名古屋支部



支部長 清水 善実 (株)シミズ

副支部長	永井 弘児	永一産商(株)	委 員	伊藤 泰雄	(株)ダイセキ
副支部長	山本 英之	明倫運輸(株)	〃	浅井 明利	(有)浅井商店
会 計	松原 高治	(株)ユニオンサービス	〃	近藤総一郎	近藤産興(株)
委 員	新美 三良	(有)三洋サービス	〃	山本 浩也	(株)ダイセキ環境ソリューション
〃	古賀 正明	名古屋コンテナ(株)	〃	平岡 靖教	(株)南部企業
〃	西山 幸光	(株)西山商店	〃	平野 範之	フルハシEPO(株)
〃	小野島常夫	ヤマケン(株)			

(令和3年6月23日 時点)

### ●支部長メッセージ

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会30周年記念おめでとうございます。

平成3年7月社団法人 愛知県産業廃棄物協会が設立され、はや30年を迎えることができました。

時代は産業廃棄物をごみとして扱うのではなく資源として考えるという転換期に入ってきております。

名は体を表すと言いますが「資源循環」という言葉の印象から、協会運営及び協会員から排出事業者に至るまで「資源循環」への意識が浸透され、循環型社会構築を推進する上で廃棄物分野におけるイノベーションを巻き起こすアプローチになるのではないのでしょうか。

名古屋支部はその信念に基づき協会運営における支援、適正処理の推進、新たな技術への積極的な取り組みや人材育成による意識啓発を図るなど、循環型社会構築において重責を担う業界界の社会的認知度の向上を目指してまいります。

### ●支部の特徴

名古屋支部は会員数230名を誇る県内の支部です。

年間の柱となる事業は、講習会、施設研修会、藤前干潟不法投棄ごみ撤去作業(他支部合同)、納涼親睦会などです。

講習会は廃掃法、他法令の改正が施行された折に専門家を招き、私たちの業務に関わる重要項目等についての解説を受けます。長年継続されている講習会は支部会員の法令遵守への認識を高め、適正処理の

推進につながる大変有意義な事業です。

施設研修会は支部会員の皆様方の技術開発の一助となるべく、先進技術(環境負荷の少ない廃棄物処理を推進、広域化する廃棄物を地方でリサイクル・処分を推進されているプラント等)に取り組まれている全国の事業所へ視察に伺い研修会を開催しております。

地域貢献活動としては、2010年「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」が名古屋市で開催された時、当時の市長の肝いりで当支部がボランティアとして初の「藤前干潟不法投棄ごみ撤去作業」を行い、地元名古屋の自然環境について深く知るきっかけとなり以降毎年開催しております。現在は三支部合同の大きな事業となり、環境省並びに行政の廃棄物担当者の皆様と共に清掃活動に励んでおります。

活動を開始以来、年々ごみの種類が変わり最近では昨今問題となっているマイクロプラスチックが干潟に堆積しているのを確認したため、早急に現状に即した撤去作業の対応について検討しているところです。廃棄物処理業に関わる者として環境整備への貢献は、SDGsの持続可能な開発目標に直結する事業であると確信しております。

また、会員の交流を目的とした事業では、納涼親睦会を開催しております。年一回一堂に会し、面識が無くとも同じ支部会員同士で話し合う機会を作っております。日頃抱える悩みや経営相談、人材育成について役割を越えて話し合う機会を作り、安らげる場を提供できるように配慮しております。

### ●これからの10年

10年後を考えたとき、30周年記念「未来のために私たちができること 環境と調和そして共存へ」のコンセプトであるSDGsのゴール達成の年ではないかと思われました。

2030年どれだけの目標にゴールできているのかと思うと、これからの10年の在り方が重要となってきます。

支部長職は時と共に代が交替していきますが、名古屋支部の代々受け継がれてきた活動はこれからも変わることなく継承されていくことと思っております。私たちに課せられた「資源循環」という役割を基軸に支部活動を通じて積極的に取り組んでまいります。

名古屋支部と致しましてはこの先SDGs(持続可能な開発目標)に向けて、支部会員の意識の向上や廃棄物を資源とするための技術開発支援等を事業として取り組んでまいります。

地球温暖化による異常気象からの自然災害、南海トラフ巨大地震などへの対策として、愛産協「業務継続計画 災害廃棄物の適正処理のために」(BCP)が発行されています。BCPに基づき私たちの機動力を生かした発災時における当支部の役割、及び協力体制の構築など支部会員一致団結して、より具体的に推進していかなくてはなりません。10年後を見据え今から盤石な体制づくりに臨みます。

結びとして、循環型社会の構築における一翼を担う業界としての責任と誇りを持ち、地域における社会貢献及び啓発事業にこれからの10年さらに注力してまいります。2030年、両手で数えきれないくらいのゴール達成を目指します!



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 尾張西支部



支部長 富田 昭夫 (株)富田商店

副支部長	佐藤 智和	高和興業(株)	委員	藤本 和也	(株)ワールド・クリーン
副支部長	中島 博史	昭栄金属(株)	〃	杉山 英孝	(株)IBミヤザワ
会計	鶴山 圭一	(株)星野産商	〃	東 昌克	(株)クリンテック
委員	新家 義彦	(有)ホクトサービス	〃	加藤 慎史	(株)海部清掃
〃	伊藤 智織	(株)宮崎	〃	平沼 伸基	(株)リバイブ
〃	鬼頭 弘	丸真(株)	〃	鈴木 敏弘	(株)KANKYO HANDS
〃	伊藤 大蔵	(有)丸公建材			

(令和3年5月17日 時点)

### ●支部長メッセージ

協会設立30周年おめでとうございます。  
先輩方のご尽力によって歩んでこられた歴史の重みを感じ、今後に於いても継続的に発展していきますよう支部役員一同努力してまいります。

この度、「一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会」、改め「一般社団法人 愛知県産業資源循環協会」となり、30年の歴史に於いて取り巻く環境が変化中、より一層環境問題を意識し限りある資源を有効に活用していく、との想いが込められた名称です。

今期「30周年プロジェクト委員会」の委員となり、記念事業の企画及び意見交換などにおいて産業廃棄物業界の進むべき方向を模索する良い機会となりました。

30周年記念事業となったテーマであるSDGs(持続可能な開発目標)は、私たちの業界に直結する目標が多く、これまで支部で開催してきた事業内容とも重なる目標にとっても共鳴しました。

当支部におきましては今後「新しい生活様式」を取り入れた支部事業の運営を目指し、コロナ禍における各社の取り組み事例を共有し、社会状況に合わせたSDGsの推進を図り、支部会員さんの意見に耳を傾け、時代に即した支部運営をしていきたいと思います。

### ●支部の特徴

尾張西支部(12市町村)は西に木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)を望む愛知県西部に位置し、古くから繊維産業とともに様々な産業が発展してきました。

地理的にも岐阜県、三重県と隣接していることから物流の拠点ともなっております。

一方、当支部は地域の半数以上が海拔ゼロメートル地帯であり、昭和34年の伊勢湾台風を始め数多くの災害を経験し、平成12年の東海豪雨は鮮明に記憶しています。

当時愛産協は愛知県の要請を受け災害廃棄物処理の復旧活動支援対策に基づき、復旧対策本部が協会内に設置されました。

このような経緯から会員の業務継続計画(BCP)策定に向けての意識は高く各社積極的に取り組んでおります。

支部は現在6ブロックに分かれ、年一回ブロック会議を開催しております。

事業においては、法令講習会、視察研修会、不法投棄防止パトロールなど、適正処理を推進するための啓発事業、地域の環境美化を目指したボランティアを主力としております。

会員間の交流事業はスポーツを通じてコミュニケーションを図り、一年の締めくくりを歓談する機会を設けるなど気楽に参加していただける事業を開催しております。

### ●10年後に向けて

やはり一番に取り組むべきこととして、大規模災害発生時に備えるための対策を講じていく必要があります。

既に地域の12市町村とは災害時における廃棄物の処理等に関する協定の締結がなされておりますので、より実効性を高めるためにも私たちは愛産協業務継続計画(BCP)の当支部の協力会員(支部全体の約80%の会員が登録(令和2年10月1日付))を増やすためにも、当支部の会員数の増強を図ってまいります。

自然災害に苛まれてきた歴史を持つ地域であるからこそ、災害対策への強い想いがありますので地場産業とのつながりを生かし、さらに行政との連携がスムーズに図れる関係づくりを構築し、次世代へとつなげて行く地盤をこの10年で形成していきたいと考えております。

そして、今後10年間はSDGs期間でもあり、我々環境問題に深い関係がある業界ですので、個々は小規模でも、知恵と力で、いい地域環境を後世に残す一助となれるような支部活動も尽力させていただきます。10年後に30周年のテーマである『未来のために私たちができること』～環境と調和そして共存へ～を皆さんと共に感じたいと思います。

## 尾張北支部



支部長 金田 英治 三洲土木(株)

副支部長	南村 朋幸	大和エンタープライズ(株)	委員	小野 仁	誠美社工業(株)
副支部長	今村 昌根	(株)新栄重機	〃	荒賀 剛志	(株)相建
会計	東久保真弓	(有)愛知環境センター	〃	中西 隆	(株)中西
委員	中野 兼司	(株)東伸サービス	〃	水野 清高	坪井金属(有)
〃	鈴木 隆真	(株)リョクリン	〃	田辺 徹	フジ建設(株)
〃	中西 清	(株)尾張クリーンパイプ	監査	川合 邦史	(有)リプロ
〃	山本 哲哉	(株)新栄工業			

(令和3年5月20日 時点)

### ●支部長メッセージ

新生・一般社団法人愛知県産業資源循環協会の誕生を、心よりお慶び申し上げます。

我々が「一般社団法人愛知県産業廃棄物協会」として活動を開始したのが、今からちょうど30年前の1991年。

そこには先輩諸兄の大変なご苦労と関係諸氏のご尽力があったことは想像に難くありません。

まずは心から感謝申し上げます。

奇しくも1991年に廃棄物処理法が大きく改正。廃棄物の排出抑制と分別・再生(再資源化)が、初めて法律の目的に加えられました。

その後21世紀を迎え、社会全体が20世紀型の大量生産・大量消費・大量廃棄の時代から循環型社会・持続可能な社会の構築に向けて大きく舵を切り直しました。

言うなれば、我が団体の名称変更は時代の要請であり、また、将来世代にわたる健康で文化的な生活の確保に欠かせない産業としての矜持を、名称変更を機にさらに高く持つことを求められています。

もはや我々は、産業活動により廃棄されたものを処分するだけの「静脈産業」ではありません。

循環型社会の構築と運営の一翼を担う、社会生活に欠かせない産業として力を合わせていきましょう。

ご安全に。

### ●支部紹介

尾張北支部は、名古屋市の北東側を取り囲む13の市町村が対象エリアです。

我が支部では、時代の流れに合わせ、柔軟に組織活動を変更してきました。例えば2009年以来、支部長の任期を2期4年としました。4年ごとに支部長を交代するためには、開かれた組織運営と魅力的な企画づくりが欠かせません。まずその一環として、我が支部では毎年6月に開催している不法投棄防止パトロールを見直しました。それまでの例会当日のパトロールでは時間の制約も大きく、満足な記録を残すこともできません。そこで、会員は事前にパトロールを実施の上、メールを介して報告書を集約。例会当日はパトロール結果の報告会として、監督機関である愛知県からもご出席を頂くようにしました。その他にも、会員企業に対するアンケートを実施して県への要望事項をまとめました。例会ごとに、独自の名札を作成し「参加者の顔と名前が一致する関係づくり」を目指しました。さらには会員企業の永年勤続者に関する情報収集をしました。会活動に少しでも興味を持ってもらえるよう、総会資料は事前郵送としました。

それぞれ形になってしまえば当たり前のことも、変更するためには地道な取り組みが必要となります。それを支えるのが各役員の方の献身的な働きです。幸いにも、尾張北支部は人材に恵まれ、次の時代に向けた取り組みを一致団結して続けています。

### ●10年後に向けて

「お互いの信頼関係を基にした企業活動。その企業活動を通して地域社会に貢献していくこと」。これが我々に課せられた大事な使命です。

コロナ禍により、働き方そのものが大きく変わったと言われますが、我々の使命はまったく変わりません。特に災害や大震災を経験した我々にとって、「地域社会への貢献」の持つ意味はとても大きなものです。今一度、このことを胸に刻み付けることが、次の10年に向けたはじめの一歩となります。また、どの時代にあっても我々の課題もまた変わることがありません。次世代の育成、情報発信と地域行政との関係作り。これがその課題です。

人口減少時代を迎え、次世代の育成は社会全体の最重要課題です。業界全体としての魅力づくりと働きやすさが、今、求められています。

一方、地域行政との関係づくりはまだまだ思うに任せません。行政機関には人事異動がありますし、「もし自然災害や大震災が発生したら」という想定の中では、「膝をつき合わせた議論」もなかなか進展できていないのが現状です。

しかし、災害や震災時の安全安心を一刻も早く回復させるためには、我々専門業者の取り組みと地域行政との連携が必要不可欠です。次の10年に向けての大事な課題、まだまだ十分に取り組み切れていない課題として、今後も取り組んでいきます。



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 尾張南支部



支部長 金田 英和 サンコーリサイクル(株)

副支部長	相木 徹	オオブユニティ(株)	委 員	永田 喜裕	(株)エイゼン
副支部長	中嶋 久則	久栄運輸(株)	〃	木村 照始	豊田ケミカルエンジニアリング(株)
会 計	都筑 章	(株)野間砂鉱業所	〃	尾之内健統	(株)日誠
委 員	平村 成一	(株)テクア	〃	瀬戸 雅也	協材砕石(株)
〃	新井 栄清	(株)上野清掃社			

(令和3年5月30日 時点)

### ●支部長メッセージ

一般社団法人愛知県産業資源循環協会設立30周年おめでとうございます。

30年前、産業廃棄物というイメージは「汚いごみ」であり、それを扱う業者は、不法投棄等すぐ悪いことをする「悪者」というレッテルを張られていたと知らなければいけません。

そんな環境の中、社団法人愛知県産業廃棄物協会が発足しました。それ以降会員の手による不法投棄の監視とごみの撤去、適正処理推進活動、地域社会への貢献活動等の実績を積み重ねてきました。最近では、令和元年東日本台風により長野県千曲市で発生した災害廃棄物処理への、協会としての参画という大事業も成功させています。これは会員が相互に結束し、力を発揮した賜物だと思います。

この様な30年にわたる地道な努力の結果もあって、産業廃棄物のイメージは大きく変わってきました。産業廃棄物は「ごみ」ではなく「資源」だといわれる様になり、私たちはその最先端にいます。この30周年を機に私たちの協会の名称も変わりました。「一般社団法人愛知県産業資源循環協会」まさにこれからの資源循環型社会の担い手としての協会名としてふさわしく、ますます社会から必要とされる存在になっていくものと確信いたします。

### ●支部の特徴

尾張南支部は、知多半島に位置する5市5町に事業所がある正会員52社と賛助会員6社で構成されています。地理的には三河湾、伊勢湾、太平洋に囲まれているため、近い将来に起きると予想される南海、東南海トラフを起点とした大地震と大津波の襲来による大規模災害が懸念されています。

そのため災害時対応への関心も高く、一般社団法人愛知県産業資源循環協会(以下、愛産協という。)6支部の中でもいち早く、尾張南支部が所管する5市5町と災害廃棄物の処理に関する協定を結びました。その後、愛産協のBCP(事業継続計画)の資料を配布するため5市5町の担当者への訪問を実施した結果、災害廃棄物処理への関心が高いことがわかりました。また、尾張南支部正会員に、災害廃棄物処理に参加できるか意志確認したところ40社が手を挙げてくれました。

これらを受け、尾張南支部では、「災害廃棄物処理に関する行政担当者との合同会議」を毎年開催してきました。行政担当者との顔の見える関係を作り、忌憚のない意見交換が出来る関係づくりを目的として、災害廃棄物処理に関する問題点等のディスカッションを行ってきました。昨年はコロナ禍で開催できませんでしたが、収束後はより具体的な課題について検討を開始する予定です。

また、名鉄知多半田駅東口にて、愛知県知多県民事務所環境保全課と合同で「ストップ!! 不法投棄」と銘打った街頭宣伝活動を、毎年「530(ごみゼロ)週間」に実施しています。

### ●これからの10年

これからの10年を考えると、大規模地震災害は起きてほしくないという願いはありますが、台風等による集中豪雨災害は毎年起きる可能性が高いといえます。このため一日も早く、5市5町との災害廃棄物処理に関する具体的な対策を協議し、計画策定を行う必要があります。まず会員各社が災害からわが身を守る事、次に各社が一日も早く自社復旧する事、その後近隣地域社会の復旧に協力する事。行政と信頼関係を構築しながら、課題への対策の策定を最重点課題として活動していきます。

## 西三河支部



支部長 梅谷 岳志 (有)花丘商事

副支部長	中嶋 政秋	長坂建設興業(株)	委員	角谷 圭祐	石橋建設興業(株)
副支部長	丹羽 庸介	(株) 鈴鍵	〃	近藤 千雅	中部保全(株)
会計	石山 勝範	(株) エヌジェイエス	〃	金井 邦剛	(株) 企業処理サービス
委員	石川 太一	(有) アイミ	〃	渥美 和男	(有) 渥美商会
〃	天野 邦彦	岡崎技研(株)	〃	大谷 次男	(有) O. W. M
〃	神谷 則夫	サンエイ(株)	〃	生駒 尚久	(有) 生駒組

(令和3年5月16日 時点)

### ●支部長メッセージ

協会設立30周年を迎え心よりお慶び申し上げます。産業廃棄物業界を取り巻く環境はこの30年で大きく変わり、環境を配慮した社会背景を考慮した業界へと移行してきました。

この長い歴史の中で印象深いことが三項目あります。一つ目は廃棄物を「ごみ」という意識から「資源」であると捉えるようになったことです。

この意識は産廃処理業者だけではなく、排出事業者、一般消費者の方々まで浸透してきています。

特に廃棄物を現場で見る私たちは、その変化を一番感じています。

二つ目は、当業界のIT化が進み電子マニフェストが普及されてきたことです。

業務の効率化、法令の遵守、データの透明性など多くのメリットが挙げられ、今後他の業務においても電子化が広がる傾向にあり、他にもAI、IoT、DX(デジタルトランスフォーメーション)等を積極的に経営システムに組み込む会員企業が増えました。

三つ目は、「優良産廃処理業者認定制度」が創設されたことです。これにより認定を受けるための産廃処理業者の意識が高まり、社会的評価の向上にもつながったのではないかと思います。

他にも多くの印象的な出来事はありますが、30年でここまでの躍進を遂げた産業廃棄物業界は、次に資源循環業界と呼称されるべく環境保全を重視した責務を担っていきます。

### ●支部の特徴

西三河地域は愛知県のほぼ中央部を縦断する形で位置し、矢作川が中央を流れ北東部は山間地域となっております。主な産業は工業、特に自動車関連産業を支える企業が周辺地域に多く立地しています。

その中で当支部は管轄面積が約1,700 km<sup>2</sup>と6支部内で最も広く会員数は110社と2番目に多い支部です。

1998年豊田市・2003年岡崎市が中核市となり、西三河県民事務所を交えての法令講習会や意見交換会では各行政機関の取組について活発な話し合いが年に一回行われています。

また大きな競技場が豊田市に設置されていることもあり、各種イベントへの参加など積極的に地域活性化に協力する機会が多く、毎年の防災訓練にも参加しております。

### ●10年後に向けて

様々な業界で言われている後継者不足・組織の高齢化に対応できるよう、支部役員若返り、各事業者における人材育成・青年部入会への促進を図ります。

管轄地域の地形が海岸線から山間部をかかえるため、自然災害が起きた場合災害廃棄物の多様化が考えられます。愛産協では既に54市町村と災害時における廃棄物の処理等に関する協定の締結をしていますので、発災時迅速な対応に臨めるよう業務継続計画(BCP)の策定を急務としています。

会員数が多く地域が広いため交流を密にして情報の共有を図り、先進技術の視察や研修会を積極的に開催し、各事業者の発展のみならず環境負荷軽減に向けて積極的に取り組んでいきます。

何かと話題になっている未来都市計画では、私たちの資源循環テクノロジーを無くしては語れないと自負しております。

これからの10年、循環型社会の構築に絶対必要な業界として革新を遂げていきます。

# [連携] 安全・安心の地域づくり

## 愛知県内全ての54市町村との間で 災害廃棄物に関する災害協定を締結

東日本大震災から10年が経過し、一日でも早い復旧、復興には災害廃棄物の撤去が欠かせません。この地方では南海トラフを震源とする巨大地震が近い将来、高い確率で発生すると言われており、ハザードマップの作成等さまざまな取り組みが成されています。

当協会では『災害時における廃棄物処理等に関する災害協定』を県内全ての市町村とを締結し、復旧、復興に全力で取り組んでいます。

協定の締結では協会役員、支部長、副支部長、市町村の長が同席し、顔の見える連携を構築するべく臨みました。



## 愛産協版 業務継続計画(BCP)策定

大規模災害発生時には一刻も早く社会機能を回復するため、災害協定締結の活動を円滑に進めることが期待されます。そのため協会では『災害廃棄物処理対策に関する特別委員会』を設置し、独自の「愛産協業務継続計画(BCP)」を策定しました。策定にあたっては協力会社の資機材調査一覧だけでなく、長野県千曲市で行った災害廃棄物処理の広域支援経験を踏まえた仮置場の管理、運営モデル等を示した実効性の高い継続計画を作成しました。



## 広域連携のため中部地域協議会を開催

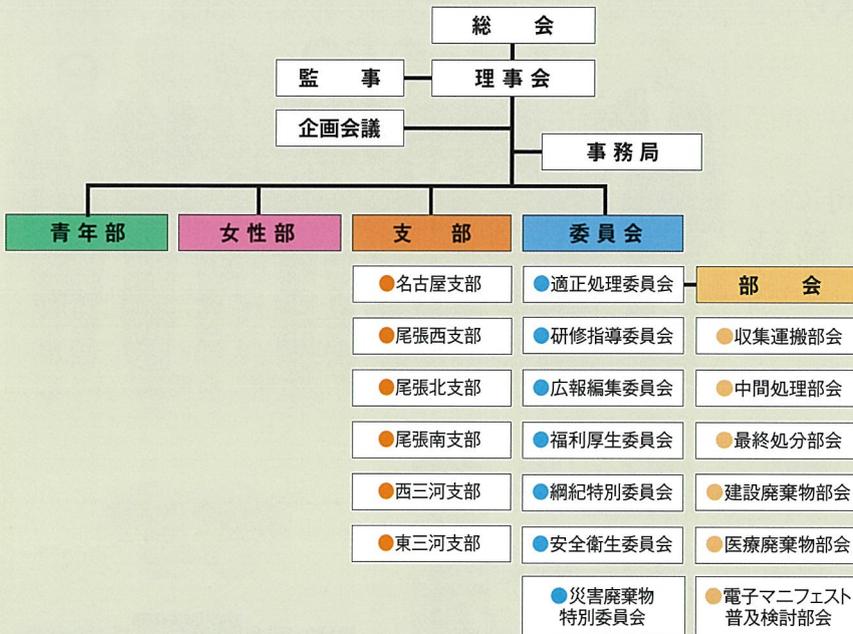
産業廃棄物の不適正処理防止のためには、近隣県も含めた広い視点に立ち連携を深めていく必要があります。中部地域協議会は中部四県(愛知県、三重県、岐阜県、静岡県)が2回(公社)全国産業資源循環連合会も加えて全体会議を開催し、各県の取り組みや問題点など意見交換を図り適正処理の推進、処理業者の資質向上等に全力で努めています。





私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

### [組織図]



### [委員会活動と部会活動]

一般社団法人愛知県産業資源循環協会は、企画会議及び7つの専門委員会を擁し、それぞれが事業計画に従い活動しています。また、適正処理委員会には、6つの部会を設け、より事業に密着したきめ細かい活動を行っています。

#### 1. 企画会議

#### 2. 適正処理委員会

- 収集運搬部会
- 中間処理部会
- 最終処分部会

- 建設廃棄物部会
- 医療廃棄物部会
- 電子マニフェスト普及検討部会

#### 3. 研修指導委員会

#### 4. 広報編集委員会

#### 5. 福利厚生委員会

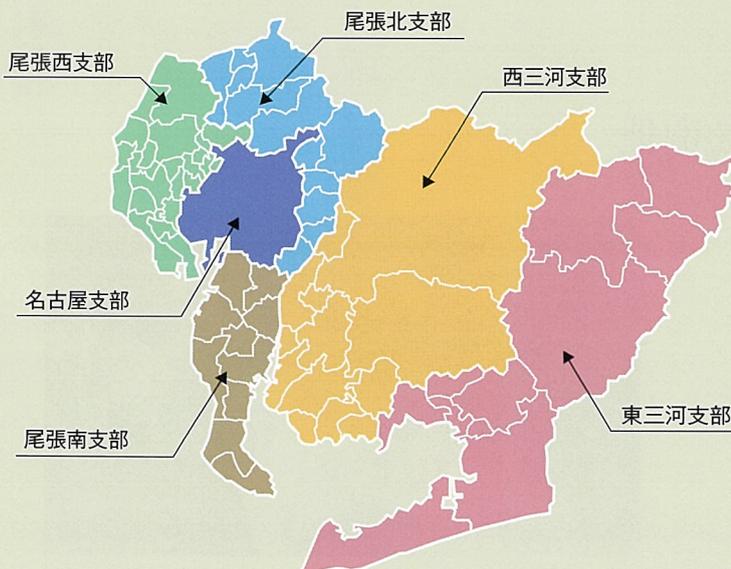
#### 6. 綱紀特別委員会

#### 7. 安全衛生委員会

#### 8. 災害廃棄物特別委員会

### [愛知県内を6支部に、広域的なネットワーク体制]

県内6カ所に支部を設置し、情報、技術、協力関係の産廃ネットワーク体制を確立しています。地域の実情に即した自主的事業の推進を強化し、業界の社会的使命の達成に向けて積極的に取り組んでいます。



### [沿革]

- 昭和51年 当協会の前身にあたる愛知県産業廃棄物処理事業協同組合発足
- 平成3年 協同組合を解散し清水善一氏を初代会長に社団法人愛知県産業廃棄物協会を設立  
事務所を名古屋市中区金山(現住所)に移転
- 平成5年 「不法投棄防止キャンペーン」を開始
- 平成6年 東三河支部・尾張北支部・西三河支部  
名古屋支部・尾張西支部・尾張南支部を設立
- 平成9年 名古屋市と大規模災害時の協定調印  
第12回通常総会にて近藤成章氏が二代目会長に就任  
日本海ナホトカ号重油流出災害で感謝状授与
- 平成12年 東海豪雨災害功労者表彰授与
- 平成15年 豊田市との大規模災害時の協定調印
- 平成17年 愛知県との災害時における廃棄物処理等に関する協定調印
- 平成23年 豊橋市との災害時における廃棄物処理等に関する協定調印  
第39回通常総会にて永井良一氏が三代目会長に就任
- 平成24年 公益法人制度改革に伴い一般社団法人に移行  
岡崎市及び小牧市との災害時における廃棄物処理等に関する協定調印
- 平成25年 半田市、幸田町をはじめ10市町との間に災害時における廃棄物処理等に関する協定を締結  
優良産業廃棄物処理業者の優良ステッカーを有償頒布
- 平成26年 稲沢市をはじめ14市町との間に災害時における廃棄物処理等に関する協定を締結
- 平成27年 北名古屋市をはじめ25市町村との間で災害時における廃棄物処理等に関する協定を締結(9月1日をもって愛知県内の全54市町村と災害時における廃棄物処理等に関する協定を締結済み)
- 平成28年 愛知県の要請を受け食品廃棄物の不正保管にかかる撤去処理を無償支援
- 令和元年 女性部を設立  
台風19号による長野県千曲市災害廃棄物処理を広域支援
- 令和3年 協会の名称を一般社団法人愛知県産業資源循環協会に変更

## 一般社団法人愛知県産業資源循環協会は 循環型社会形成の基幹産業団体として SDGsの達成を視野に全力で取り組んでいます。

当協会は、平成3年7月、産業廃棄物の適正処理及び再生利用の推進に取り組む愛知県下の産業廃棄物処理業者を核に公益法人として発足しました。

平成24年4月からは、公益法人制度改革に伴い、一般社団法人愛知県産業廃棄物協会として、令和3年1月1日には、より一層の資源循環の担い手となるよう一般社団法人愛知県産業資源循環協会に改称し、新たなスタートをしました。

21世紀に入り、環境への意識は以前にも増して高まり、循環型社会への移行が本格化する中、産業廃棄物処理業への期待はますます大きくなっています。

当協会は、こうした直面する課題に、資源循環の更なる推進、適正処理の徹底に努めるほか、優良産廃処理業者認定制度への対応や地球温暖化防止への対応、企業の社会的責任としてのCSR活動や世界的なテーマである持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け積極的に取り組み、業界の資質向上と資源循環型社会の構築に全力で貢献していく所存です。

[名称] 一般社団法人愛知県産業資源循環協会

[所在地] 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目10番9号 第8フクマルビル5階

TEL (052) 332-0346 FAX (052) 322-0136

[会長] 永井 良一



**豊かな環境、健やかな地域づくりを理念に。**

一般社団法人愛知県産業資源循環協会のシンボルマークです。

上部の球体は環境保全を、中央の球体は愛知県産業資源循環協会を表し、下部の楕円形は住みやすく豊かな大地を表現。この3つを合わせることで生まれる空間は、人と愛知県の頭文字「A」を表し、環境保全とともに歩む当協会の指針を表現しています。また、シンボルカラーのブルーは爽やかに快適な環境を、グリーンは美しい自然を意味しています。

### [事業内容]

1. 産業廃棄物の適正処理及び再生利用に関する調査研究事業
2. 産業廃棄物の適正処理及び再生利用に関する研修事業、相談及び指導事業、普及事業
3. 許可申請に関する講習会、マニフェスト頒布事業等、関係行政機関の施策に係る受託事業
4. 産業廃棄物の適正処理に関する協会規程に基づく調査及び指導事業
5. 産業廃棄物処理業者の福利厚生に関する事業
6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### [目的]

#### 人材の育成・情報提供

県民の皆様へ信頼を得、排出事業所から安心して業務委託していただくために、人材の質的向上をサポートしています。勉強会や講習会、施設見学会などさまざまな場を設けて優秀な人材づくりを強力にサポートしています。また、許可の申請、更新、法改正など事業の活性化に直接結びつく情報の提供を積極的に行っています。

#### 地域密着のネットワーク

収集運搬・中間処理・リサイクルから最終処分まで、当協会に入会する廃棄物処理業者は、産業廃棄物処理の分野のスペシャリスト集団です。それぞれの処理技術やノウハウをベースに協力関係を樹立し、強力なチームワークを事業に反映しています。また、愛知県内に6支部が設置され、地域に密着した適正処理と環境保全に取り組んでいます。

#### 行政・排出事業者と一体となった 高いレベルの事業環境づくり

産業廃棄物の適正処理の推進には、排出事業所と民間処理業者が一体となり、環境保全に取り組むことが大切です。当協会は、発足当初から常に行政機関と密に連携を保ち、適切な協会運営を図りながら、行政、排出事業者、処理業者が一体となり、より高いレベルで事業活動が展開できるよう環境を整備し、産業廃棄物処理業界の地位向上に努力しています。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 廃棄物関係法令改正等の主な経緯(2011~2021)

平成23年 (2011)	8.12 12.14	・東日本大震災により生じた災害廃棄物の処理に関する特別措置法の制定 [23.8.12施行] ・平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境汚染への対処に関する特別措置法(放射性物質汚染対処特措法)の制定 [24.1.1施行]
平成24年 (2012)	8.10 12.12	・使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)の制定 [25.4.1施行] ・ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施行令の一部改正(処理期限の10年延長) [24.12.12施行]
平成25年 (2013)	2.21	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部改正公布(特定の施設から排出される廃油等が特別管理産業廃棄物に追加及び一定濃度以上の1,4-ジオキサンを含む燃え殻及びばいじんについて埋立処分基準等の整備) [25.6.1施行]
平成26年 (2014)	2.3	・建築物の解体時における残置物の取扱いについて(通知)(残置物は、建築物の解体に伴い生じた廃棄物(解体物)とは異なり、その処理責任は当該建築物の所有者にある。残置物が一般廃棄物である場合、その処理を受託するためには、一般廃棄物処理業の許可又は市町村からの委託を受ける必要がある。)
平成27年 (2015)	7.17 11.11 11.24	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部改正(災害廃棄物処理に係る規定の整備) [27.8.6施行] ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部改正(廃水銀等及びその処理物を特別管理廃棄物に指定し、処理・保管基準を追加) [28.4.1施行,29.10.1施行] ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部改正(PCB使用廃安定器の分解・解体作業を原則禁止、低濃度PCB廃棄物に限り燃焼条件の変更) [27.12.14施行]
平成28年 (2016)	6.20 7.29	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部改正(トリクロロエチレンを含む廃棄物の判定基準の厳格化) [28.9.15施行] ・ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の改正(使用中の高濃度PCB使用製品に関する処分期限の義務付け等) [28.8.1施行]
平成29年 (2017)	6.16	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正(廃棄物の不適正処理への対応の強化、有害使用済機器の適正な保管等の義務付け、親子会社間における自ら処理できる範囲の拡大) [30.4.1施行,32.4.1施行]及び(水銀に関する水俣条約を踏まえた水銀廃棄物対策) [29.10.1施行]
平成30年 (2018)	12.30	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正(水銀使用製品産業廃棄物の対象となる水銀使用製品及びあらかじめ水銀の回収が必要な水銀使用製品の追加等) [31.3.3施行]
平成31年 令和元年 (2019)	6.14 9.4 10.18	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部改正(廃棄物処理業許可等に係る欠格要件の見直し(成年被後見人等に係る権利の制限に係る措置の適正化) [1.12.14施行] ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正(優良産業廃棄物処分業者の廃プラスチック類の保管上限の引き上げ) [1.9.4施行] ・令和元年台風19号による災害についての特定非常災害及びこれに適用すべき措置の指定に関する政令(令和元年台風19号による災害を特定非常災害に指定するとともに特定被災区域内における業の許可等の有効期間の延長) [1.10.18施行]
令和2年 (2020)	2.25 5.1 5.15 7.16	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部改正(優良認定の任意申請 [2.2.25施行]、第三者機関による優良認定基準の一部審査代行と適合証明の発行、事業の透明性に係る基準項目の追加及び財務体質の健全化に係る基準の見直し) [2.10.1施行] ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部改正(緊急に行う廃棄物の処理を許可不要で行えるようにする特例及び保管上限の特例) [2.5.1施行] ・新型コロナウイルス感染症に対するための廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の特例を定める省令(年次報告の期限延長) [2.5.15施行]、(廃棄物処理業の変更届出等の期限延長、定期検査の期間延長、 manifests の送付期限延長、電子 manifests の登録期限延長、産業廃棄物の保管届出の事後届出) [2.4.7に遡及して適用] ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部改正(産業廃棄物と同様の性状を有する災害廃棄物の処理を可能とする特例の創設及びPCB廃棄物の一般廃棄物処理施設設置に係る特例対象への追加) [2.7.16施行]
令和3年 (2021)	4.5	・廃棄物処理施設等の更新及び交換に係る手続きについて(通知)(同一の廃棄物処理施設に更新する場合には設置許可不要、同一ではない廃棄物処理施設に更新する場合には処理能力増大しても環境負荷低減可能な施設更新であれば軽微変更届出で足りる。生活環境影響調査等の手続きを不要等)

## 2020~2021

前年より続くコロナ禍において事業の開催方法はWebの活用が徐々に浸透し、会員企業においてはリモートワークを取り入れるなど業務においてICT技術を積極的に取り入れる傾向となった。協会設立30周年を迎え、より一層の資源循環の担い手となるよう協会名を変更。

- 令和2年
- 7月** **[協会の動き]**  
15日 令和2年度中部地域協議会第1回全体会議開催
- 8月**  
4日 令和2年度エコアクション21認証取得セミナー開催
- 9月**  
2日 新入社員安全衛生教育・研修開催  
9日 第29回実務者研修会開催  
11日 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議(書面開催)  
19日 おうちで環境デーなごや2020(Web開催)参加
- 10月**  
2日 第29回親睦ボウリング大会(尾張会場)(コロナ禍のため中止)  
7日 第29回親睦ゴルフ大会(コロナ禍のため中止)  
9日 令和2年度県・市行政と愛産協との懇談会(書面開催)  
13日・14日 職長安全衛生教育・研修開催  
23日 第29回親睦ボウリング大会(三河会場)(コロナ禍のため中止)
- 11月**  
13日 愛産協業務継続計画(BCP)第3版作成  
28日 「Let's エコアクション in AICHI」参加
- 12月**
- 令和3年
- 1月**  
1日 一般社団法人愛知県産業資源循環協会に名称変更  
18日 第30回実務者研修会開催  
29日 協会設立30周年記念式典・記念講演会(コロナ禍のため中止)  
記念品としてバナナペーパーで作成されたSDGsノート、カレンダー、新協会バッジを配布
- 2月**  
5日~3月7日 SDGs AICHI EXPO 2020(オンライン配信)参加  
9日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会(コロナ禍のため中止)  
9日 第9回安全大会(コロナ禍のため中止)  
18日 2021愛知環境賞で銀賞に加山興業(株)、銅賞に豊栄化学(株)が受賞
- 3月**  
1日~31日 産業廃棄物適正処理推進セミナー(オンライン配信)(県と共催)  
4日 令和2年度中部地域協議会第2回全体会議(Web開催)  
20日・21日・27日・28日・4月3日・4日 モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画参画
- 4月**
- 5月**  
14日 正副支部長等会議開催(書面開催)  
19日 令和3年度エコアクション21認証取得セミナー開催
- 6月**  
24日 第10回通常総会開催  
24日 令和3年度愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会総会開催



実務者研修会



バナナペーパーで作成されたSDGsノート、カレンダー



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

新しい協会バッジ



初のWeb活用による令和2年度中部地域協議会第2回全体会議



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# 2019~2020

女性部が設立され今後の活躍に期待が高まる。平成30年7月豪雨による岡山県災害廃棄物処理現場を視察。長野県千曲市災害廃棄物処理の広域支援を協会として全国で初めて実施。新型コロナウイルス感染症が拡大。

令和元年  
7月

### [協会の動き]

23日 令和元年度エコアクション21認証取得セミナー開催

8月

1日 第12回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(尾張コース)  
6日 第12回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(三河コース)  
7日 令和元年度中部地域協議会第1回全体会議開催

9月

3日 第27回実務者研修会開催  
5日 女性部設立総会  
9日 新入社員安全衛生教育・研修開催  
14日 環境デーなごや2019参加  
13日 事業継承勉強会開催  
18日 電子マニフェスト操作体験セミナー開催  
26日 不当要求防止責任者講習会開催

10月

1日 産業廃棄物処理業優良化セミナー(尾張会場)(県と共催)  
4日 第28回親睦ボウリング大会(尾張会場)開催  
9日 第28回親睦ゴルフ大会開催  
16・17日 職長安全衛生教育・研修開催  
19日・20日 ほうさいこくたい2019@NAGOYA 参加  
25日 第28回親睦ボウリング大会(三河会場)開催  
28日 産業廃棄物処理業者優良化セミナー(三河会場)(県と共催)  
30日 令和元年度県・市行政と愛産協との懇談会開催

11月

7日・8日 施設見学開催(岡山県産業廃棄物処理事業一次仮置場及び二次仮置場)  
11日 (~3月27日) 台風19号による千曲市災害廃棄物の広域支援開始  
(仮置場管理、収集運搬、処分)  
15日 第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会で近藤千雅副会長が環境大臣賞を受賞  
23日・24日 「Let's エコアクション in AICHI」参加  
26日 産業廃棄物処理業優良化セミナー(尾張会場)(県と共催)  
28日 電子マニフェスト導入実務者研修会開催

12月

3日 電子マニフェスト操作体験セミナー開催  
16日 台風19号による千曲市災害廃棄物処理の支援について対談

令和2年  
1月

9日 令和2年新年交代会開催  
21日 産業廃棄物排出事業者セミナー(愛知県主催)参加  
29日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催  
29日 第8回安全大会開催  
29日 産業廃棄物適正処理講習会(豊田市主催)参加

2月

3日 第28回実務者研修会開催  
4日 2019年度暴力追放セミナー参加  
12日 2020愛知環境賞で金賞に東邦ガス(株)、名古屋市長賞に株小樹屋、優秀賞に太平産業(株)が受賞  
13日 令和元年度中部地域協議会第2回全体会議開催  
26日 安全衛生委員会「安全衛生視察・研修」開催

3月

20日~4月4日 モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画(コロナ禍のため中止)

4月

1日 許可講習会(コロナ禍のため4月~6月中止:7月~令和3年3月暫定講習会に変更)

5月

8日 正・副支部長会議(書面開催)

6月

6月中 不法投棄防止パトロール実施(コロナ禍のため一部中止)  
25日 第9回通常総会開催  
25日 令和2年度愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会総会開催



女性部設立総会



事業継承勉強会



施設見学(岡山県産業廃棄物処理事業一次仮置場及び二次仮置場)



台風19号による千曲市災害廃棄物処理の支援について対談



千曲市災害廃棄物処理支援の状況

## 2018~2019

平成から令和へと新たな元号となり、循環型社会構築に向けて産廃業界への期待が高まる。適正処理推進への啓発事業や事業主対象の労働安全衛生教育など業務おける技術の向上と人材育成について積極的に取り組む。

平成30年

7月

【協会の動き】

- 11日 平成30年度中部地域協議会第1回全体会議開催
- 31日 第11回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(尾張コース)

8月

- 8日 第11回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(三河コース)
- 20日 廃棄物の適正な処理の促進に関する条例(愛知県)研修会及び事業主対象の労働安全衛生教育・研修会開催

9月

- 6日 電子マニフェスト操作体験セミナー開催
- 10日 新入社員安全衛生教育・研修開催
- 15日 環境デーなごや2018参加

10月

- 1日 産業廃棄物処理業者優良化セミナー(三河会場・県との共催)
- 4日・5日 職長安全衛生教育・研修開催
- 5日 第27回親睦ボウリング大会(尾張会場)開催
- 10日 産業廃棄物処理業者優良化セミナー(尾張会場・県との共催)
- 12日 第27回親睦ボウリング大会(三河会場)開催
- 17日 第27回親睦ゴルフ大会開催
- 23日 第25回実務者研修会開催
- 29日 平成30年度県・市行政と愛産協との懇談会開催
- 30日・31日 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー(営業コース)参加

11月

- 3日 加山昌弘理事が旭日単光章を受章
- 6日 電子マニフェスト導入実務研修会開催
- 7日・8日 施設見学開催(㈱大洋サービス、㈱ゲネシス・はごろもフーズ㈱)
- 13日・14日 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー(現業管理コース)参加
- 16日 第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会で金田英和理事が環境大臣賞を受賞
- 17日・18日 「Let's エコアクション in AICHI」参加

12月

- 4日 電子マニフェスト操作体験セミナー開催

平成31年

1月

- 10日 平成31年新年交際会開催
- 29日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催
- 29日 第7回安全大会開催

2月

- 5日 平成30年度中部地域協議会第2回全体会議開催
- 5日 産業廃棄物処理に係る意見交換会(環境省主催)
- 14日 2019愛知環境賞で金賞にブラザー工業㈱、銅賞に㈱マルコー商会在受賞
- 15日 第26回実務者研修会開催
- 21日 廃棄物適正処理講習会(豊田市主催)参加
- 22日 廃棄物適正処理セミナー2019(岡崎市主催)参加
- 28日 安全衛生委員会「安全衛生視察・研修」開催

3月

- 7日 平成30年度暴力追放セミナー参加
- 23日・24日・30日・31日・4月6日・7日 モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画に参加

4月

令和元年

5月

- 8日 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議開催
- 10日 正・副支部長会議開催
- 21日 令和元年度エコアクション21認証取得セミナー開催
- 30日~6月28日 不法投棄防止バトロール実施

6月

- 5日 電子マニフェスト操作体験セミナー開催
- 13日 (公社)全産連第9回定時総会、会長表彰式参加
- 21日 第8回通常総会開催
- 21日 令和元年度愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会総会開催
- 25日 「働き方改革関連法」及び「事業主対象の労働安全衛生教育」研修会開催



産業廃棄物処理業者優良化セミナー



親睦ボウリング大会



Let's エコアクションin AICHI参加



施設見学(㈱ゲネシス・はごろもフーズ㈱)



産業廃棄物処理に係る意見交換会(環境省主催)



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# 2017~2018

愛産協永井会長が(公社)全国産業資源循環連合会会長に就任。  
環境先進国(デンマーク、フィンランド)へ廃棄物処理と有効利用について視察、  
女性の活躍推進に向けて循環あいち「女子駅伝」スタート。

平成29年  
7月

### 【協会の動き】

20日 循環あいち104号で「女子駅伝」スタート

8月

- 1日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催
- 2日 第10回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(尾張コース)
- 3日 平成29年度中部地域協議会第1回全体会議開催
- 17日 第10回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(三河コース)

9月

- 7日 第23回実務者研修会開催
- 11日 新入社員安全衛生教育・研修開催
- 16日 環境デーなごや2017参加

10月

- 1日~8日 施設見学会開催「産業廃棄物処理とその有効利用」(デンマーク、フィンランド)
- 5日・6日 職長安全衛生教育・研修開催
- 13日 産業廃棄物処理業優良化セミナー開催(県と共催)
- 16日・17日 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー(現業管理コース)参加
- 17日 平成29年度安全なまちづくり愛知県民大会で平沼辰雄副会長が暴力追放功労者として名誉会長感謝状を授与
- 18日 第26回親睦ゴルフ大会開催
- 23日 平成29年度県・市行政と愛産協との懇談会開催
- 27日 第26回親睦ボウリング大会(三河会場)開催

11月

- 1日・2日 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー(営業コース)参加
- 8日 電子マニフェスト導入実務研修会開催
- 8日 アセック廃棄物セミナー参加
- 17日 第16回産業廃棄物と環境を考える全国大会で石川信夫監事が環境大臣表彰を受賞
- 17日 第69回愛知県表彰条例により平沼辰雄副会長が環境保全関与功労者表彰を受賞
- 17日 第26回親睦ボウリング大会(尾張会場)開催
- 18日・19日 「Let's エコアクション in AICHI」参加報告
- 20日・21日 施設見学会開催(大栄環境株)

12月

19日 産業廃棄物処理業優良化講習会開催(県と共催)

平成30年  
1月

- 10日 平成30年新年交歓会開催
- 16日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催
- 26日 安全衛生研修会「安全衛生規定及び危険予知訓練(KYT)の進め方」開催

2月

- 1日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催
- 1日 第6回安全大会開催
- 5日 平成29年度中部地域協議会第2回全体会議開催
- 7日 第24回実務者研修会開催
- 9日 平成29年度暴力追放セミナー報告
- 15日 2018愛知環境賞で優秀賞にアルメック株、株毎日商會が受賞
- 15日 豊田市主催 産業廃棄物処理業者のための廃棄物適正処理講習会参加
- 22日 平成29年度ごみゼロ社会推進あいち県民会議「ごみ再資源化対策部会」先進事例視察参加
- 27日 安全衛生委員会「安全視察・研修」開催

3月

24日・25日・31日・4月1日・7日・8日 モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画に参画

4月

5月

- 11日 正・副支部長会議開催
- 21日 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議開催
- 22日 平成30年度エコアクション21認証取得セミナー開催
- 30日~6月22日 不法投棄防止パトロール実施

6月

- 5日 平成30年度 環境衛生事業功労者表彰を近藤千雅常務理事、新美三良理事が受賞
- 5日 電子マニフェスト操作体験セミナー開催
- 15日 (公社)全産連第8回定時総会、会長表彰式参加
- 29日 第7回通常総会開催
- 29日 平成30年度愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会総会開催



海外視察(デンマーク&フィンランド)



能力アップセミナー



循環あいち「女子駅伝」会員企業初取材(株宮崎)



安全衛生研修会



不法投棄防止パトロール

## 2016~2017

南海トラフ巨大地震が高い確率で発生すると想定され、愛産協の役割を検討するため熊本地震災害現場を視察。愛産協事業継続計画 (BCP) の模擬訓練を実施。ダイコー不適正処理事件を考える座談会開催。

平成28年  
7月

### 【協会の動き】

20日 平成28年度中部地域協議会第1回全体会議開催  
27日・28日 熊本地震災害を視察

8月

2日 第9回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー (三河コース) 開催  
9日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催  
17日 第9回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー (尾張コース) 開催

9月

7日 愛産協事業継続計画の模擬訓練実施  
8日 不当要求防止責任者講習会開催  
13日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催  
14日 新入社員安全衛生・教育研修開催  
17日 環境デーなごや2016参加  
20日 第21回実務者研修会開催

10月

18日・19日 職長安全衛生教育・研修開催  
20日 平成28年度県・市行政と愛産協との懇談会開催  
25日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催  
28日 第25回親睦ボウリング大会 (尾張会場) 開催

11月

1日 平成28年度産業廃棄物処理業から暴力団排除のための講習会参加  
1日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催  
1日・2日 産業廃棄物処理従事者能力アップセミナー (営業コース) 参加  
9日 第25回親睦ゴルフ大会開催  
11日 第15回産業廃棄物と環境を考える全国大会で梅村正裕常務理事が環境大臣表彰を受賞  
14日 アセック廃棄物セミナー参加  
19日・20日 「Let's エコアクション in AICHI」参加  
25日 第25回親睦ボウリング大会 (三河会場) 開催  
29日・30日 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー (現業管理コース) 参加

12月

5日・6日 施設見学開催 (香川県豊島・直島)  
13日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催

平成29年  
1月

10日 平成29年新年交礼会開催  
17日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催

2月

1日 第22回実務者研修会開催  
2日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催  
2日 第5回安全大会開催  
9日 平成28年度中部地域協議会第2回全体会議開催  
15日 安全衛生委員会「安全視察・研修」開催  
16日 2017愛知環境賞で銀賞に (株) 紅久商店、名古屋市長賞にダイセキグループが受賞  
22日 豊田市主催廃棄物適正処理講習会参加

3月

23日 産業廃棄物処理業者優良化セミナー開催  
25日・26日・4月1日・2日・8日・9日 モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画に参画  
29日 食品廃棄物の撤去処理に係る感謝状授与

4月

18日 平成29年度エコアクション21認証取得セミナー開催

5月

12日 正・副支部長会議開催  
22日 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議開催  
29日 改めてダイコー不適正処理事件を考える座談会開催  
31日 安全衛生委員会「安全衛生研修会」開催

6月

2日~23日 不法投棄防止パトロール実施  
5日 平成29年度環境衛生事業関係功労者表彰を金田英和理事が受賞  
6日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催  
16日 (公社) 全産連第7回定時総会、会長表彰式参加  
21日 第6回通常総会開催  
21日 平成29年度愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会総会開催



熊本地震災害を視察



愛産協事業継続計画の模擬訓練実施



施設見学 (香川県豊島・手島)



愛知県より食品廃棄物の撤去処理に係る感謝状の贈呈式



改めてダイコー不適正処理事件を考える座談会開催



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# 2015~2016

夏休み親子体験ツアーなど一般の方への啓発活動は毎年大好評! 平成9年より始まった「災害時における廃棄物の処理等に関する協定の締結」はこの年愛知県内全ての54市町村と災害協定を締結。ダイコー(株)による食品不適正処理事案について撤去・処理を支援。

平成27年  
7月

### 【協会の動き】

- 1日 岩倉市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 6日 豊山町との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 10日 平成27年度中部地域協議会第1回全体会議開催
- 22日 豊川市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 24日 瀬戸市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結

8月

- 6日 第8回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー(三河コース)開催
- 11日 尾張旭市、長久手市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 12日 田原市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 17日 循環ビジネス創出会議ビジネスセミナー参加
- 18日 蒲郡市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 19日 第8回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー(尾張コース)開催
- 21日 豊田市主催産業廃棄物処理業者のための廃棄物適正処理講習会報告
- 24日 江南市、大口町、扶桑町との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 27日 津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛鳥村との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結

9月

- 1日 第19回実務者研修会開催
- 1日 新城市、設楽町、東栄町、豊根村との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結。第19回実務者研修会開催
- 12日 第32回全国都市緑化あいちフェアで(株)鈴鍵が愛知県知事賞金賞を受賞
- 18日 新入社員安全衛生教育・研修会開催
- 19日 環境デーなごや2015参加

10月

- 6日・7日 廃棄物処理業従事者能力アップセミナー(現業管理コース)参加
- 15日 平成27年度安全なまちづくり愛知県民大会で愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会が感謝状を授与
- 19日 平成27年度県・市行政と愛産協との懇談会開催
- 21日・22日 職長安全衛生教育・研修会開催
- 26日・27日 施設見学開催(新日本開発(株))
- 27日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催

11月

- 6日 第14回産業廃棄物と環境を考える全国大会で新家義彦理事が環境大臣表彰を受賞
- 10日 緊急通報システム操作説明会(豊橋会場)開催
- 12日 第24回親睦ゴルフ大会開催
- 13日 愛知県表彰条例により加山昌弘理事、平村成一委員が環境保全関与功労者表彰を受賞
- 14日・15日 「Let's エコアクションin AICHL」参加
- 17日 緊急通報システム操作説明会(名古屋会場)開催
- 18日 第24回親睦ボウリング大会(三河会場)開催
- 26日 電子マニフェスト導入実務研修会開催
- 26日 アセック廃棄物セミナー参加
- 27日 第24回親睦ボウリング大会(名古屋会場)開催

12月

- 2日・3日 廃棄物処理業従事者能力アップセミナー(営業コース)参加
- 18日 平成27年度あいち地球温暖化防止戦略・あいち自動車環境戦略推進大会で旭有機材工業(株)、サンコーリサイクル(株)があいちCO2削減マニフェスト2020認定証を授与

平成28年

1月

- 8日 平成28年新年交際会開催
- 26日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催

2月

- 2日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催
- 2日 第4回安全大会開催
- 9日 第20回実務者研修会開催
- 12日 産業廃棄物適正処理推進セミナー

3月

- 7日 (一社)愛産協臨時総会開催
- 9日 第20回実務者研修会開催。平成27年度中部地域協議会第2回全体会議開催
- 16日 産業廃棄物処理業者優良化セミナー開催
- 17日 安全衛生委員会「安全衛生視察・研修」開催
- 19日・20日・26日・27日・4月2日・3日 モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画に参画

4月

- 19日 平成28年度エコアクション21認証取得セミナー開催

5月

- 11日 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議開催
- 13日 正・副支部長会議開催
- 18日 ダイコー(株)による食品廃棄物不適正処理事案について理事会で撤去・処理の支援を決定
- 30日~6月28日 不法投棄防止パトロール実施

6月

- 6日 平成28年度環境衛生事業功労者表彰を石川信夫監事が受賞
- 7日 電子マニフェスト操作体験セミナー・個別導入相談会開催
- 17日 (公社)全産連第6回定時総会、会長表彰式参加
- 22日 第5回通常総会開催
- 22日 平成28年度愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会総会開催



親子で環境・資源リサイクル体験ツアー(尾張コース)



親子で環境・資源リサイクル体験ツアー(三河コース)



環境デーなごや作品づくり



緊急通報システム操作説明会



臨時総会「ダイコー(株)除名の件」について審議

## 2014~2015

愛知県内の市町村と災害時における廃棄物処理等に関する協定の締結が進む中、第1回災害廃棄物処理対策特別委員会を開催。  
愛産協業務継続計画(BCP)が策定され社会的役割を積極的に展開。

平成26年  
7月

**【協会の動き】**

- 28日 西尾市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 28日 平成26年度中部地域協議会第1回全体会議開催

8月

- 1日 排出企業を対象にした“産業廃棄物マネジメント研修会”参加
- 6日 第7回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー(尾張コース)開催
- 18日 第7回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー(三河コース)開催
- 22日 豊田市主催産廃セミナー参加
- 26日 循環ビジネス創出会議参加

9月

- 5日 新入社員安全衛生教育・研修開催
- 13日 環境デーなごや2014参加
- 15日 第17回実務者研修会開催

10月

- 1日 清須市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 9日 第1回災害廃棄物処理対策特別委員会開催
- 14日 平成26年度県・市行政と愛産協との懇談会開催
- 17日 平成26年度安全なまちづくり愛知県民大会参加
- 23日・24日 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー(営業コース)参加
- 27日・28日 職長安全衛生教育・研修開催
- 28日 産業廃棄物処理業からの暴力団排除対策のための講習会参加
- 28日 豊田市主催廃棄物適正処理講習会参加
- 29日 平成26年度ごみゼロ社会推進あいち県民大会参加
- 29日・30日 施設見学会開催(株京都環境保全公社)

11月

- 3日 相木邦昭理事が旭日双光章を受章
- 7日 第13回産業廃棄物と環境を考える全国大会で平沼辰雄副会長が環境大臣表彰を受賞
- 7日 第23回親睦ボウリング大会(名古屋会場)開催
- 8日・9日 あいち・なごやESD交流フェスタに参加
- 12日 第23回親睦ゴルフ大会開催
- 13日・14日 廃棄物処理業従事者能力アップセミナー(現業管理コース)参加
- 19日 春日井市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 26日 アセック廃棄物セミナー参加
- 28日 第23回親睦ボウリング大会(三河会場)開催

12月

- 3日 安全衛生員会「安全衛生視察・研修」開催
- 10日 みよし市、東郷町との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 16日 あいち地球温暖化防止戦略・あいち自動車環境戦略推進大会参加

平成27年  
1月

- 8日 平成27年新年交礼会開催
- 9日 北名古屋市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結

2月

- 1日 日進市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 2日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催
- 2日 第3回安全大会開催

3月

- 4日 循環ビジネス創出会議ビジネスセミナー参加
- 9日 平成26年度中部地域協議会第2回全体会議開催
- 12日 第18回実務者研修会開催
- 17日 産業廃棄物処理業者優良化セミナー開催
- 21日・28日・29日・30日・4月4日・5日 モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画に参画
- 31日 愛産協業務継続計画(BCP)を策定

4月

- 17日 異業種対談・交流会開催
- 21日 平成27年度エコアクション21認証取得セミナー開催

5月

- 15日 正・副支部長会議開催
- 18日 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議開催

6月

- 2日~19日 不法投棄防止パトロール実施
- 10日 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度説明会参加
- 12日 (公社)全産連第5回定時総会、会長表彰式・参加
- 16日 第4回通常総会開催
- 16日 平成27年度愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会総会開催
- 26日 犬山市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結



中部地域協議会第1回全体会議開催



施設見学(株京都環境保全公社)



春日井市災害協定



愛産協業務継続計画(BCP)を策定



第1回異業種対談・交流会(一社)愛知県環境測定分析協会×愛産協



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# 2013~2014

産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー開催等により業界全体のレベルアップを図る。知多地区の5市5町と災害廃棄物処理に係る協定の締結完了。

平成25年

7月

【協会の動き】

23日 平成25年度中部地域協議会第1回全体会議開催

8月

6日 第6回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(三河コース)  
20日 第6回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(尾張コース)  
22日 循環ビジネス創出会議参加  
22日 環境マネジメントシステム普及促進セミナー参加  
23日 近藤産興(株)の国道美化・愛護運動に対し国交省より感謝状を授与

9月

9日 第15回実務者研修会開催  
14日 環境デーなごや2013参加  
20日 一宮市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
24日 排出企業を対象とした“産業廃棄物マネジメント研修会”参加  
24日 新入社員安全衛生教育・研修開催  
26日・27日 (公社)全産連主催平成25年度産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー参加  
30日 不当要求防止責任者講習会開催

10月

4日 大府市、阿久比町との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
10日 平成25年度県・市行政と愛産協との懇談会開催  
16日 平成25年度安全なまちづくり愛知県民大会参加  
25日 豊明市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
28日 平成25年度ごみゼロ社会推進あいち県民フォーラム参加  
29日・30日 職長安全衛生教育・研修開催

11月

1日 アセック廃棄物セミナー参加  
6日・7日 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー(営業コース)参加  
7日 施設見学開催(三重中央開発株)  
8日 第12回産業廃棄物と環境を考える全国大会参加  
10日 木質バイオマス利用に係るシンポジウム参加  
13日 第22回親睦ゴルフ大会開催  
14日 排出事業者を対象とした産業廃棄物マネジメント研修会参加  
15日 第22回親睦ボウリング大会(名古屋会場)開催  
22日 愛知県表彰条例により永井良一会長が環境保全関与功労者表彰を受賞  
22日 第22回親睦ボウリング大会(三河会場)開催

12月

1日 東浦町との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
2日 パーゼル法等説明会参加  
16日 知多市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
16日 産業廃棄物処理業優良化セミナー開催  
17日 常滑市、武豊町との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
19日 知多地区バイオマス利活用プロジェクト会議参加  
20日 あいち地球温暖化防止戦略・あいち自動車環境戦略推進大会参加

平成26年

1月

10日 平成26年新年交代会開催  
27日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催  
27日 第2回安全大会開催  
28日 稲沢市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
30日 アスベスト対策に関する講習会参加

2月

19日 平成25年度中部地域協議会第2回全体会議開催  
25日 安全衛生視察・研修開催

3月

12日 第16回実務者研修会開催  
14日 南知多町、美浜町との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
23日・29日・30日 モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画に参画

4月

3日 安城市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
4日 刈谷市、知立市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
22日 平成26年度エコアクション21認証取得セミナー開催

5月

13日 改正大気汚染防止法説明会参加  
14日 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議開催  
16日 正・副支部長会議開催  
20日~6月26日 不法投棄防止ノットロール実施  
30日 碧南市、高浜市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結

6月

9日 東海市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
11日 平成26年度環境月間「県民のつどい」参加  
13日 (公社)全産連第4回通常総会、会長表彰式参加  
18日 第3回通常総会開催  
18日 平成26年度愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会総会開催



環境マネジメントシステム普及促進セミナー



産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー



モリコロパーク春休み特別企画「森の指令書」協力



施設見学会(三重中央開発株)



産業廃棄物と環境を考える全国大会

## 2012~2013

東日本大震災の災害廃棄物処理現場を視察、3支部合同藤前干潟のクリーン大作戦を視察、業界の安全衛生の向上を目的とした第1回安全大会開催。  
優良産業廃棄物処理業者PR用ステッカー作成・販売。

平成24年

7月

[協会の動き]

8月

10日 第5回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(尾張コース)  
20日 第5回親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(三河コース)  
28日 新入社員安全衛生教育・研修開催

9月

10日 第13回実務者研修会開催  
15日 環境アーンごや2012参加  
18日 循環ビジネス創出会議参加  
27日・28日 施設見学会開催(仙台市震災廃棄物処理状況を視察)

10月

1日・2日 レアメタルリサイクル国際協力シンポジウム「眠る都市鉱山」参加  
15日 平成24年度安全なまちづくり愛知県民大会参加  
15日 (株)タイセキが3R環境大臣表彰を受賞  
18日 平成24年度県・市行政と愛産協との懇談会開催  
18日 アセック廃棄物セミナー参加  
26日 第11回産業廃棄物と環境を考える全国大会で彦坂孝明氏(株)エムエムアイが環境大臣表彰を受賞  
27日 藤前干潟クリーン大作戦を3支部合同で視察  
31日・11月2日 第56回新生活と環境全国大会参加

11月

6日 排出事業者を対象とした産業廃棄物マネジメント研修会参加  
7日 建設廃棄物部会が愛知県、建設業界と懇談会開催  
7日・8日 職長安全衛生教育・研修開催  
9日 第21回親睦ボウリング大会(名古屋会場)開催  
15日 第21回親睦ゴルフ大会開催  
16日 第21回親睦ボウリング大会(三河会場)開催  
28日 小牧市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結

12月

13日 あいち地球温暖化防止戦略・あいち自動車環境戦略推進大会参加  
14日 バーゼル法等説明会参加  
14日 第5回知多地域バイオマス活用プロジェクト会議参加  
15日 持続可能性を考えるシンポジウム参加  
18日 循環・3Rシンポジウム参加  
19日 産業廃棄物処理業者優良化セミナー開催

平成25年

1月

9日 平成25年新年交礼会開催  
30日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会開催  
30日 第1回安全大会開催

2月

14日 環境配慮契約法基本方針説明会参加  
15日 平成24年度中部地域協議会第2回全体会議開催  
26日 アスベスト対策に関する講習会参加  
28日 半田市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結

3月

4日 幸田町との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結  
8日 産業廃棄物に係る金属等の検定方法告示改正説明会参加  
15日 第14回実務者研修会開催

4月

1日 優良産業廃棄物処理業者のPR用ステッカーを作成・販売  
1日 (公財)愛知臨海環境整備センターの理事に当協会永井良一会長が就任  
25日 平成25年度エコアクション21認証取得セミナー開催

5月

10日 正・副支部長会議開催  
13日 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議開催

6月

5日~28日 不法投棄防止パトロール実施  
5日 平成25年度環境月間「県民のつどい」で新家義彦理事(南ホクトサービス)が環境衛生事業功労者表彰を受賞  
7日 第2回通常総会開催  
7日 平成25年度愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会総会開催  
14日 (公社)全産連第3回定時総会、会長表彰式参加  
28日 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度説明会参加



仙台市震災廃棄物処理状況を視察



県・市行政と愛産協との懇談会



藤前干潟クリーン大作戦を3支部合同で視察



第1回安全大会



正・副支部長会議



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# 2011~2012

公益法人制度改革に伴い一般社団法人に移行。東日本大震災災害廃棄物処理に関する対策会議に参加し災害廃棄物処理の動向と調査。法改正の周知や各事業が徐々に浸透し新体制としての協会をPR。

平成23年

7月

### 【協会の動き】

- 1日 平成23年度中部地域協議会第1回全体会議開催
- 26日 東日本大震災災害廃棄物処理特別対策本部第3回対策会議参加

8月

- 8日 中部地域協議会会長会議開催
- 11日 親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(尾張コース)
- 19日 親子で環境・資源リサイクル体験ツアー開催(三河コース)
- 25日 環境マネジメント普及促進セミナー開催
- 26日 エコアクション21認証取得セミナー開催

9月

- 8日 新入社員安全衛生教育・研修会開催
- 14日 第11回実務者研修会開催
- 18日 “環境デーなごや2011”参加

10月

- 8日 平成23年度パーゼル法等説明会参加
- 12日 平成23年度安全なまちづくり愛知県民大会参加
- 21日 循環ビジネス創出のための特許セミナー参加
- 28日 第19回親睦ボウリング大会(三河会場)開催

11月

- 1日 一般社団法人化に伴い臨時総会開催
- 4日 第10回産業廃棄物と環境を考える全国大会が開催
- 10日 平成23年度産業廃棄物処理業からの暴力団排除対策のための講習会参加
- 14日・15日 施設見学開催(株ミダックふじの宮)
- 16日 第20回親睦ゴルフ大会開催
- 25日 第19回親睦ボウリング大会(名古屋会場)開催
- 28日 職長安全衛生教育・研修会開催
- 30日 アセック廃棄物セミナー参加

12月

- 15日 あいち地球温暖化防止戦略・新世紀自動車環境戦略推進大会参加

平成24年

1月

- 6日 平成24年新年交礼会開催
- 6日 平成23年度県・市行政と愛産協との懇談会開催
- 17日 平成23年度ごみゼロ社会推進あいち県民大会参加
- 27日 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会開催

2月

- 2日 産業廃棄物処理業優良化セミナー開催
- 2日 化学物質適正管理セミナー参加
- 6日 アスベストに関する講習会参加
- 16日 環境配慮契約基本方針全国説明会参加
- 21日 電子マニフェストシステム操作体験セミナー開催
- 22日 改正水質汚濁防止法全国説明会参加
- 24日 暴力追放セミナー参加
- 27日 環境ビジネス創出会議参加
- 27日 平成23年度中部地域協議会第2回全体会議開催

3月

- 9日 第12回実務者研修会開催
- 23日 第40回通常総会開催

4月

- 27日 震災がれき受け入れに関する要望について県知事と面談

5月

- 8日 名古屋市暴力団排除条例制定記念イベントに参加
- 9日 長久手市南小学校へ朝日小学生新聞(1年間)を寄贈
- 11日 正・副支部長会議開催
- 12日~6月28日 不法投棄防止パトロール実施
- 16日 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議開催

6月

- 8日 第1回通常総会開催
- 8日 平成24年度愛知県産業廃棄物業暴力対策協議会総会開催
- 11日 平成24年度環境月間「県民のつどい」参加
- 15日 (公社)全産連第2回定時総会、会長表彰式参加
- 15日 温室効果ガス排出量算定報告、公表制度説明会参加
- 19日 岡崎市との間に災害時における廃棄物の処理等に関する協定締結
- 19日 平成24年度エコアクション21認証取得セミナー開催
- 27日 平成24年度中部地域協議会第1回全体会議開催



東日本大震災災害廃棄物処理特別対策会議に参加



一般社団法人に伴い臨時総会を開催



震災がれき受け入れに関する要望について県知事と面談



長久手市南小学校へ朝日小学生新聞を寄贈

## 10年の歩み 1991~2001

(平成3年7月~平成13年6月)

- 1991: 社団法人 愛知県産業廃棄物協会設立 初代会長 清水善一氏就任。
- 1992: 各部会が開設され講習会等を活発に開催。協会のシンボルマーク(青と緑を基調)が決まる。
- 1993: 不法投棄防止キャンペーンが始まり広報活動及び会員に随時不法投棄防止パトロールを実施。
- 1994: 県下を6ブロックに分け、地域に密着した事業の展開と会員の意見疎通を図るため6支部が設立。
- 1995: 産業廃棄物減量化、再利用推進に向け、埋め立てるのではなく社会の求める最新施設の視察。
- 1996: 県・市行政指導会議開催。法令講習会が各支部にて開催される。
- 1997: 名古屋市と大規模災害時の協定締結。二代目会長 近藤成章氏就任。
- 1998: 不法投棄・不適正処理防止のためマニフェストが義務付けられた。
- 1999: リサイクル法案が成立、廃棄物処理法の改正、循環型社会形成へ。
- 2000: 東海豪雨の災害廃棄物撤去作業に対して愛知県より感謝状が授与。
- 2001: 各種リサイクル法が施行される中、「2000NEW 環境展」(名古屋開催)にブースを出展。



1992: 理事会



1994: 支部設立総会(名古屋支部)



1996: 不法投棄防止パトロール

## 20年の歩み 2001~2011

(平成13年7月~平成23年6月)

- 2001: 県・市行政指導会議開催。
- 2002: 循環型社会形成推進基本法整備により大規模な構造改革が進む。
- 2003: 大学、行政、建設業協会の産業廃棄物の専門家によるパネルディスカッションが行われる。
- 2004: 愛知県と「災害廃棄物の処理等に関する協定」締結。産業廃棄物と環境を考える全国大会が名古屋で開催。
- 2005: 愛知万博開催。県組織の名称が「廃棄物対策課」から「資源循環推進課」へ改称。産業廃棄物税が施行。
- 2006: 電子マニフェストの普及率を2010年に50%と定め目標達成に向けて取り組む。
- 2007: 協会内に電子マニフェスト体験コーナーを設置。
- 2008: 第1回夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーが開催。高病原性鳥インフルエンザの防疫作業に協力。
- 2009: 新入社員や職長のための安全衛生教育・研修がスタート。
- 2010: 改正「廃棄物処理法」の説明会にて周知が図られる。藤前干潟不法投棄物撤去作業に協会員がボランティアとして参加。
- 2011: 公益法人制度改革に伴い一般社団法人に移行。



2002: 県・市行政指導会議



2007: 支部長座談会



2009: 施設見学(株ダイセキ北陸営業所)

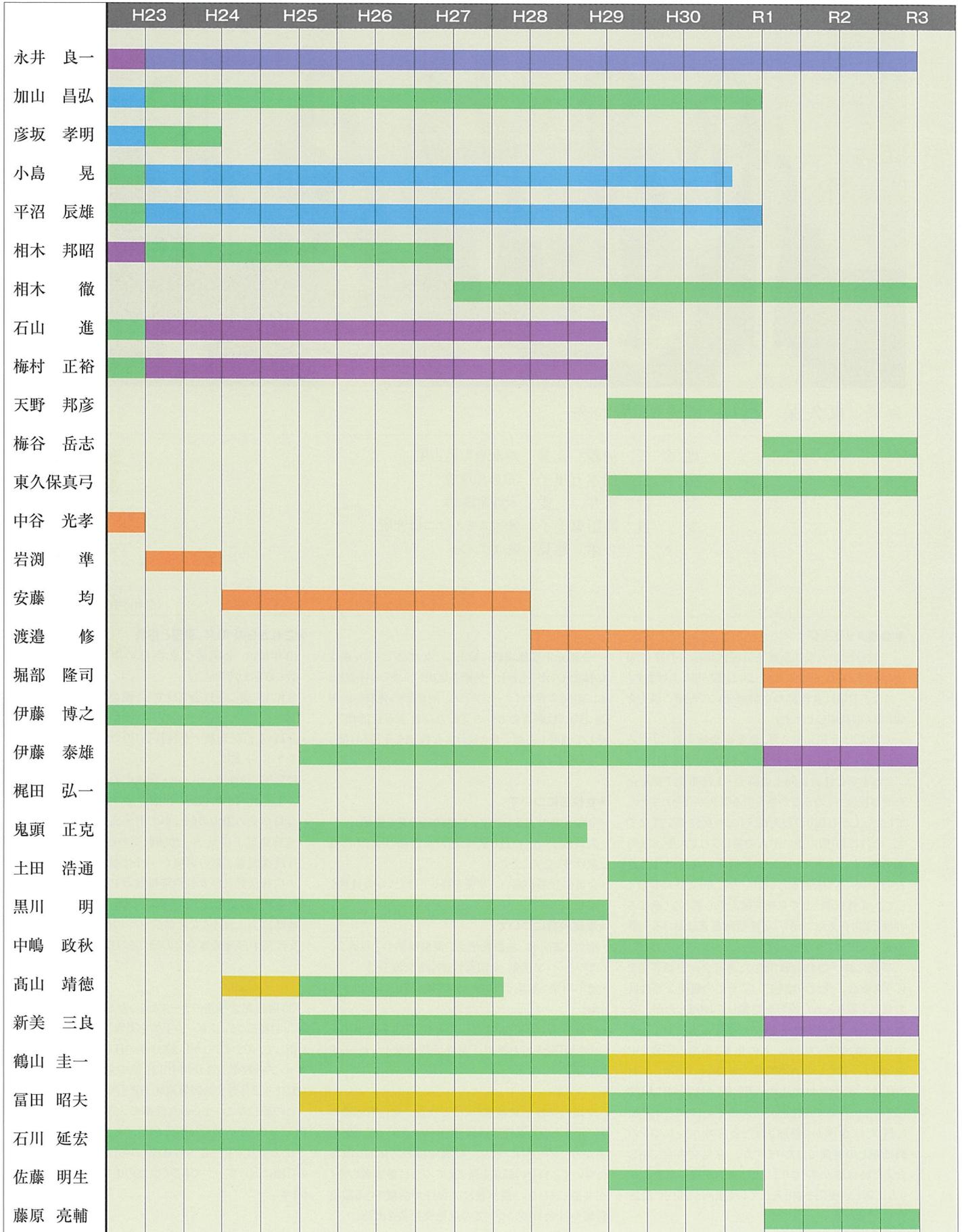


私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
杉山 徳雄	Green	Green	Green	Green	Green						
石川 信夫	Green	Green	Green	Green	Green	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow		
丹羽 庸介										Yellow	Yellow
高木 英泰	Green	Green	Green	Green	Green	Green					
堀川 政男	Green										
新家 義彦	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green
金田 英和	Yellow	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green
近藤 千雅	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Green	Green	Green	Green	Purple	Blue	Blue
門川 浩人		Green	Green	Green	Green	Green					
川合 邦史							Green	Green	Green		
南村 朋幸										Green	Green
竹内 良一		Green	Green	Green	Green	Green					
金田 英治							Green	Green	Green	Green	Green
中野 兼司	Yellow	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Purple	Blue	Blue
長崎 正敏		Green	Green	Green	Green						
松井 忠博					Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green
清水 善実										Green	Green
山本 浩也										Green	Green
鬼頭 秀幸										Green	Green
浅井 明利		Green	Green	Green	Green						
永田 幹人					Green	Green	Green				
近藤 大樹							Green	Green	Green		
金田 琳										Green	Green
佐藤 正行	Green	Green	Green								
南村 勝己	Green										
水野 良夫	Green	Green	Green								
川根 武	Green										
加藤 直毅	Green										
武田 英裕	Green	Green									

会長 副会長 専務理事 常務理事 理事 監事

# 歴代の役員





私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 女性部



会長 東久保 真弓 (有)愛知環境センター

副会長 加藤 友美 (株)紙資源名古屋  
副会長 橋本万里子 (有)伸和環境  
会計 永井 愛 永井産業(株)  
委員 浦田恵美子 (株)コスモス・エコ研究所  
〃 今津 悠見 (株)アグメント

(令和3年5月12日 時点)

### ◎会長メッセージ

一般社団法人愛知県産業資源循環協会の設立30周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃は女性部の事業運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

女性部は令和元年9月、産業廃棄物業界における女性会員の活躍推進を目的として設立いたしました。

これまで女性会員同士は協会・支部事業で顔を合わせる程度で、なかなか話をする機会が得られませんでした。しかし周りのお力添えにより女性部を設立でき、それにより個の想いが人の輪によって大きく広がりました。人脈ネットワークや情報の共有は会員各社の発展にもつながる力となり、なにより女性経営者として、女性社員として立場を越えて心置きなく話せる仲間と知り合えたことが、女性活躍推進における一番の栄養剤ではないでしょうか。

事業においては実践に即した講習会、意識啓発を伴う講演会、交流の輪を広げるための親睦会等会員の意見を取り入れた内容を開催しておりましたが、令和2年早々新型コロナウイルスの感染拡大により、社会生活の様式が一変され、人の集まる事業の開催を中止せざるを得ない状況が令和3年になっても続いておりました。社会的にWebの活用が広がる傾向にありましたので、事業で女性部の全国の集いにリモート参加しました。全国から参加された会員の方とパソコンの画面越しの対面ではありますが、意見交換会で話しかけた時は胸が熱くなりました。これを機に事業の在り方に新しい展開を取り入れていく傾向が部内に浸透していきました。

令和元年順風満帆に船出した女性部ですが、荒波に揉まれながらも新しい活路を見出し、多くの仲間とともに産廃業界のイメージアップ、同業界の発展への寄与、さらには弱者の方への支援及び社会奉仕活動等、そして何時も笑顔で輝き続ける女性部を今後も目指してまいります。

### \*女性部について

- ・令和元年9月5日設立、本格的に活動を開始。
- ・会員数18名(役員6名)全国の女性部の中でも部員数は多いとのこと。
- ・会員の意識が高い。(事業を盛り上げたい、会員数を増やしたい等)

### \*事業内容について

- ・総会、講演会、施設見学会、視察研修会、親睦会、ボランティア活動、全国女性部会と交流会等
- ・通年事業：収集ボランティア活動(使用済み切手収集)
- ・研修事業：令和2年12月 愛知県副知事青山桂子氏を講師としてお招きし「女性活躍推進セミナー」を開催。

愛知の女性活躍推進をめぐる状況、女性管理職の割合、「あいち女性活躍推進プロジェクト」(青山副知事がリーダー)等について、職場環境の具体的な改善についてご自身の経験を踏まえての話に参加者の多くが共感しました。講演後には女性が活躍できる環境整備や社会貢献についての意見交換会を実施。

### ◎これからの10年、展望と抱負

- ・10年後は、全国協会女性部の中で1番の部員数(30名)が目標です。
- ・令和3年度に委員会を設立し、組織的な活動を実施。
- ・会員(女性管理職・女性社員)の労働環境の整備をサポート支援。
- ・保育園・幼稚園・小・中・高校における環境教育の支援として教育機関へ出前授業の提案及び実施。会員企業の協力のもと、小・中・高校生向けの廃棄物処理工場見学・体験教室の提案及び実施。
- ・行政機関等主催の環境イベントに参加し産廃業界の広報活動及び女性活躍推進のPR。
- ・異業種との交流及びコラボレーション事業の推進。
- ・他県協会における女性部設立への働きかけ、次に女性部中部地域連合会の設立を目指す。

30周年記念事業のテーマとなったSDGsについては、「目標5のジェンダーの平等を実現しよう」の達成を目指しております。しかし2020年の日本は、ジェンダーギャップ指数が153か国中121位です。(2021年2月男女共同参画局HP引用)

この順位をこれからの女性部の大きなテーマとして捉え、2030年の順位に期待してください。次の世代を担う者への道標(みちしるべ)として17の目標に向けて一つでも多く事業の中で達成してまいります。

青年部



会長 金田 琳 サンコーリサイクル(株)

直前会長	近藤 大樹	中部保全(株)	委員長	柘植 章仁	(株)中部クリーン
副会長	砂月 和貴	(株)クリンテック	委員長	高木 宏教	(株)富士石油商会
副会長	天野 晃明	岡崎技研(株)	委員長	長塚 高志	(株)ユニオンサービス
副会長	永井 雅大	永井産業(株)	監事	荒賀 剛志	(株)相建
会計	森 雅俊	ホームックス(株)	監事	井戸田 理	日活合成工業(株)
会務	宮下雄一郎	(株)石川マテリアル			

(令和3年5月12日 時点)

●会長メッセージ

この度は、一般社団法人愛知県産業資源循環協会設立30周年誠にありがとうございます!

愛産協の成長とともに、加盟する多くの企業が一緒に成長してきました。30年の歴史を振り返ると、長い時代を歩んできたと思います。特に協会設立当初からこの業界を牽引してこられた諸先輩方は特にそう思うのではないでしょうか。今は当たり前のように環境学習が教育プログラムに組み込まれたり、新卒社員の就職候補となったり、業界の地位も30年の歴史の中で大きく向上しました。それは協会活動を通して業界としての地位向上を目的とし今日まで歩んできた証だと思えます。

このさき50年、100年と時を刻んでいく為には、次の世代が新たな価値観や考えを共有して行く必要があると思います。それが青年部としての役割であり、使命だと思えます。

今後、益々愛知県産業資源循環協会そして会員企業が発展し、我々業界をつうじて日本が明るく元気になることを祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

●青年部の特徴

愛知県産業資源循環協会青年部は、年齢50歳以下を対象とし、業界を牽引する若手リーダーの集まりとなっております。愛産協青年部は現全産連会長兼愛産協会長の永井良一様が発起人となり発足しました。発足から30年以上が経過をし、現在は64名の会員で構成されており、会社の代表だけでなく幅広い方々にご参加頂いております。

青年部会員の皆様は複数ある委員会に配属をし、月一回程度各委員会で会議等を開催しながら年間で行う事業内容を決めていきます。委員会構成は毎年変わりますが、勉強会やセミナーを開催したり、親睦を深める懇親事業を企画したりさまざまあります。

青年部も全国47都道府県にあり、2年に一回全国大会を通じた交流活動も行われております。愛知県だけでなく、他県の同業者とも交流を行える絶好の機会ですので、青年部にまだ加盟されていない方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会をお待ちしております。

●10年後に向けて

これからの10年は、人々の生活、さまざまなことに変革が起ると思います。今まで当たり前のように移動し、対面式で行っていたものが、この1年ですべてが覆りました。しかし、その一方でデジタルへの移行が急激に加速し、今となってはウェブ会議がスタンダードとなりました。たった1年で、いままでの当たり前が180℃覆り、このスピードは今後もますます加速し世界は変化していきます。

企業として利益を追求するだけでなく、これからはどのように社会へ還元しているかも重要な経営戦略になってきます。すでと言われておりますが、ESG投資が当たり前な時代になっており、だからこそ、SDGs活動の本質を理解することが非常に大切だと想います。誰一人取り残さない社会の実現、SDGsを語る上で重要なテーマの一つですが、文字通り実現されている社会になってることを願っていますね。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 東三河支部



支部長 鬼頭 秀幸 (有)リサイクリング産業

副支部長	竹内臨通夫	三州建設(株)	委員	大島 史彰	ガステックサービス(株)
副支部長	富田 雅則	田原環境サービス(株)	〃	土井 政博	(株) MARUKO
会計	伊藤 良文	(株) マルサワ	〃	金海慶太郎	(有) ビンョー環境
幹事	彦坂 真樹	(株) エムエムアイ	〃	津田 治秀	(株) ダイワ
委員	松井 忠博	(有) 松井工業	〃	井本 佳宏	(株) イモト
〃	清水 宏臣	(有) 清水商店	〃	柏原 宏人	加山興業(株)
〃	酒井 正樹	(株) 加藤解体工業	監査	長崎 正敏	(株) トヨジ

(令和3年4月18日 時点)

### ●支部長メッセージ

一般社団法人愛知県産業廃棄物協会の設立30周年、そして新たな名称、一般社団法人愛知県産業資源循環協会(以下愛産協と表記)のスタートを迎えることに、誠におめでとうございます。

私自身、このような節目の時期に多くの先輩方々に支えられ、東三河支部会員の皆様にも協力を得て、支部長という大役を任せていただき、運とご縁を感じ、身に余る光栄なことと誠に感謝する次第でございます。

但し、愛産協の活動や皆様の会社経営として考えてみて、ここ10年を振り返りますと、リーマンショックの影響や震災、水害等の天災に悩まされ、そしてまた現在では、新型コロナウイルスという厄介なものに脅かされ、大変な時期であるともいえます。

しかし、愛産協の活動は、従来と比較して少しずつ変化をとり、今では社会的に無くてはならない組織として、行政の方々をはじめ、一般の方々からも大いに期待されているように思います。特に愛知県内の54市町村との災害時における廃棄物の処理等に関する協定の締結や災害時における協力には、具体的な活動として、とても高い評価を得たことと思います。

こうしたことから、私たちの業界は、あらゆる困難な状況乗り越えて現在に至っています。これからも継続的かつ積極的に活動し、コロナ禍の中でも決して屈することなく、業務を全うすることでしょう。

最後に、愛産協の更なる発展と会員の皆様のご

健康ご多幸を祈念申し上げ、私からのメッセージとさせていただきます。ありがとうございます。

### ●支部の特徴

東三河支部では、設立当初から組織を明確にして活動していき、月に一度の役員会をはじめ法令講習会や施設見学及び勉強会等、総会や新年会も含めると、年間で6回程度の東三河支部会員が集合する機会があります。本年度事業は、コロナ禍の影響で少し減りましたが、もう20年以上継続している、不法投棄物撤去作業に至っては、毎年、新城市、豊川市、豊橋市、蒲田市、田原市と東三河地域のどこかで実施しています。それも、担当行政や地域住民そして東三河支部会員と協力して活動しています。継続は力なりといいますが、この活動につきましては、地域住民の理解を深めるためにも、とても意義があり、また参加した全ての人に意識改革を図れるような気がいたします。

私は、これらの活動が今日に至るまで継続できたのも、過去の先輩方々が、脈々と繋げてきた結果であります。当然、東三河支部会員の協力や、団結力がなければ、実現しなかったと思います。こういったところが、東三河支部の特徴であります。

### ●10年後に向けて

私は、これからの10年間で、産業廃棄物は減少傾向になると予想します。その理由は、人口が減少し、生産活動も様変わりして、自分たちの生活も現

在と比較したら、使用するものも変わっていくでしょう。それが、環境を良くすることへ繋がっていけばよい事なのかもしれませんが、取り扱う側にとっては、不安を抱えることになるでしょう。

そこで、愛産協でも、さまざまな情報を取り入れ、会員の役に立つ団体として、活動し続けていることを大いに期待します。もちろん会員の企業努力が最も重要なことでしょう。

一方では、地球温暖化防止対策等、環境問題を地球規模で考えて活動していかなければいけない状況です。10年後の2030年は、国連が提唱するSDGsの17の目標期限でもあります。そして、大きな地震もかなりの確率でおこることも予想されています。また変なウイルスが出てくるかもしれません。

私は、全てを想定し、覚悟して活動することで、ほとんどの問題は解決できると信じています。そんな時こそ、会員の正確な情報の共有や協力が必要でしょう。また、ダーウィンの言葉を借りて言うなら、変化に最もよく適応したものが生き残ると言っています。このような先人の考え方や、今まで助言をしてくださった業界の先輩方々をはじめとし、その他、多くの方々からの応援等を後輩たちに伝えていくことが使命だと思います。

それが、私自身や弊社の成長そして、愛産協の更なる発展に繋がっていくことになると思います。

最後に私の好きな言葉で締めたいと思います。「継続的挑戦」です。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 県・市行政と愛産協との懇談会開催

愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、豊田市の環境行政に携わる行政担当者等と当協会役員が一堂に会し、産業廃棄物の適正処理や実態について意見交換を行い、業の指針となる貴重な懇談会は毎年開催され、行政との顔の見える関係を図っています。



## 安全・安心な地域社会づくりへの貢献

当協会は資源循環の広域性を視野に入れ、(公社)全国産業資源循環連合会や、反社会的勢力を封じ込む暴力対策協議会など関係諸団体との協議会等を通じて、国や県・市・大学機関等との情報収集や意見交換を積極的に行い、適正処理、資源循環の推進に全力を上げて取り組んでいます。



## 中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議の開催

環境省中部地方環境事務所、第三管区・第四管区の各海上保安本部、静岡県警察本部及び(一社)愛知県建設業協会始め中部4県(愛知県、三重県、岐阜県、静岡県)の各行政機関及び産業廃棄物処理に関わる4県の協会が参加し、各関係機関の取り組み状況等を情報交換するとともに、その対策等について意見交換を行い、産業廃棄物の不法投棄や不法処理の防止を図っています。

## 【基盤】

### 資源循環産業の確立と人材育成

#### 安全大会の開催

産業廃棄物業は労働災害の発生率が高く、労働災害の仕組みの中にある“不安全行動”を取り除く取り組みが重要です。協会では労働災害防止対策を会員企業において推進するため、労働災害の死亡者数ゼロを目標に毎年安全大会を開催。安全大会では愛知労働局労働基準部安全課や中央労働災害防止協会等より講師を招き講習会を開催。また、安全宣言を一斉唱和することにより全員が安全への意識を高め、業務に取り組む上での安全衛生への基盤づくりを図っています。



#### エコアクション21認証取得セミナー開催



環境負荷低減への取り組みは産業廃棄物処理業にとっても大きなテーマです。エコアクション21認証取得は、費用の面でも比較的導入しやすく、中小企業においても取り組みやすい環境マネジメントシステムで、すでに多くの企業で実践され、業界の成熟に向けて成果を上げています。

#### 産業廃棄物処理業優良化セミナー開催



エコアクション21認証取得に合わせ、企業の優位性を高める産業廃棄物処理業優良化セミナーを開催しています。

優良産廃処理業者認定制度における認定を受けると適正処理業者として広く認知され、ビジネスや取引において多くのメリットがあるため、会員に向けて同制度の認定取得を推進しています。

#### 事業承継勉強会、環境マネジメントなど各種セミナー 暴力団排除のための勉強会など各種事業を開催



産廃業界のさらなる自立に向かう中、業の振興方策や世代交代、暴力団排除の活動などさまざまな時代の流れに直面しています。このようなテーマに対しては随時セミナー、勉強会を開催し、その時々々の諸問題の解決に向けて支援事業を展開しています。





私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 産業廃棄物処理実務者研修会開催

人材育成の大きな柱が産業廃棄物処理実務者研修会です。産業廃棄物処理業は許認可事業であるため、業務を行う上で廃棄物処理法の知識、適正処理についてなど専門的な知識の習得が必須です。研修会では事務担当者から現場担当者までの幅広く、産業廃棄物を取り扱う上で根幹となる知識を学ぶ社員研修を開催しています。



## 産業廃棄物従事者能力アップセミナー(現業管理コース/営業コース)

産業廃棄物従事者能力アップセミナーでは、「現業管理コース」、「営業コース」をそれぞれ2日間の日程で研修を行い、問題解決に向けてのアイデア、企画力、実践に向けての能力開発を行っています。(令和元年度まで実施)



## リスクマネジメント研修開催



職場におけるリスクの見積もり、優先度の順位、低減措置などによりリスクの見える化を図り労働災害の減少を目指す取り組みです。

## 新入社員及び職長安全衛生責任者教育研修会開催



新入社員研修では、新入社員に向けて会員企業の担当者が現場の声を講話し、基礎的な知識を修得するための研修です。職長安全衛生責任者教育研修では、安全衛生における職長の責務についてなど実際に起こった労働災害事例を挙げ、安全衛生責任者としての責務の重要性を認識するための研修です。

## 許可講習会、マニフェスト頒布、電子マニフェストの普及促進

平成10年に、すべての産業廃棄物の処理を委託する際にマニフェストの使用が義務付けられたことから、紙マニフェストの販売業務を行うとともに、電子マニフェストを普及促進させるため、操作体験セミナー及び講習会等を実施することで、不法投棄、不適正処理の未然防止に取り組んでいます。

また、廃棄物処理法に基づき産業廃棄物処理業を行う場合に必要となる専門的知識と技能を習得してもらうための許可講習会((公財)日本産業廃棄物処理振興センター主催)を行っています。



## 【交流】 情報収集とコミュニケーションづくり

ボウリング大会、ゴルフ大会、施設見学会など  
親睦、勉強会を通して同業者間のコミュニケーション  
各企業力の向上に努めています

毎年秋に開催される会員間の相互コミュニケーションを図る親睦ゴルフ大会や、会員企業の従業員が参加する親睦ボウリング大会（尾張会場・三河会場）は、平成4年に福利厚生事業として始まり、毎年大勢の方が参加され会社間の垣根を越えスポーツを通じて人と人のつながりを築いています。

施設見学会は毎年実施しており、全国の同業者の施設、排出事業所に赴き親睦や交流を深め、最新の設備や新技術について知見を広める機会としています。



## 支部活動も活発に行われ、人や事業の交流を積極的に支援しています

愛産協は県内に6支部あり、各支部においては総会で提案された事業計画に沿い、法令、適正処理等の講習会を行政担当者の方を交え随時開催し、他にも各種セミナーを積極的に行っています。

恒例となった忘年会、新年会、支部合同ゴルフ大会、施設見学会は、普段なかなか顔を合わせる機会の少ない会員同士の交流の場となっています。こうした活動は会員間の結束力となり協会を支えています。





私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 県民に向けた好評の企画 夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーを開催



協会が一般市民に向けて環境や資源リサイクルについて広く知っていただくことを目的とした「夏休み親子で環境資源リサイクル体験ツアー」は、平成20年8月に始まり、毎年「尾張コース」、「三河コース」の各コースに20組の親子連れが参加します。体験ツアーには資源循環を専門とした大学の先生が同行され、子どもたちからの質問や見学先でのポイントなど広い視野からのアドバイスがあります。参加者のお子さんは体験ツアーのレポートを夏休みの宿題として提出するなど、環境への意識啓発として生きた学びの効果を上げているようです。



## モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画に参画

愛・地球博記念公園内の環境学習施設「もりの学舎」では春休みの期間中、家族で自然に触れることで自然環境への保護について知っていただく愛知県主催の特別企画に参画しています。

同施設には協会事業の紹介パネルを展示、クラフトワークは日常の廃材を活用したエコ工作やあそび工房などを開催、屋外ではインタプリターと自然の森の中や池を周るツアーが行われ多くの家族連れが参加します。



## 環境デーなごや等のイベントに参加

環境をテーマにしたさまざまなイベントに積極的に出展し、協会事業のPR及び2030年のSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取り組みを紹介しています。



# [環境保全] 社会貢献活動

## 毎年6月環境月間に県内全域で「不法投棄防止パトロール」等を展開

愛知県内6支部(名古屋支部、尾張西支部、尾張北支部、尾張南支部、西三河支部、東三河支部)では、毎年6月の環境月間に合わせて、不法投棄ごみ撲滅をスローガンに県内全域で一斉に不法投棄防止パトロールや不法投棄防止の啓発活動

を実施しています。

パトロール活動は1993年から毎年続けられ、市街地はもちろん海岸周辺、山間部において不法投棄ごみはほとんどなくなり地域の環境保全に大きく貢献しています。



平成29年度 不法投棄防止パトロール報告書

(一社)愛知県産業廃棄物協会名古屋支部

実施日時	2017年 5 月 24 日 水 曜日 14:00 以降
報告者	尾 張 南 支 部 会 社 名 カレーン株式会社
発見場所	瀬戸市 緑道248通い (倉庫裏手前 昔アゲル小森農機があった場所)
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 不法投棄 <input type="checkbox"/> 不適切保管、不適正処理、野焼き その他( )
主な廃棄物と数量	TV、プリンター、椅子、ベッド、洗濯ごみなど、とにかく大量

14



## 国の指定鳥獣保護区藤前干潟「不法投棄ごみ撤去作業」

渡り鳥の中継地として全国でも希少な国の指定鳥獣保護区である藤前干潟には、海に捨てられたごみや川の上流から流れてきたペットボトルや廃プラスチック類のごみが大量に溜まり、特に海の廃プラスチックごみは世界的な問題となっています。

環境省中部地方環境事務所や県・市の行政機関の要請を受け、名古屋支部、尾張西支部、尾張北支部はごみの撤去作業に全面的に協力し、自然環境の保全に努めています。

青年部では夏の海水浴シーズンに向けて海岸清掃活動や、「富士山をきれいにするプロジェクト」にも参加し、世界遺産の富士山の環境美化に貢献しています。

(平成25年度から実施)





私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 530運動環境協議会に協力、東三河一帯の海岸・山間部等の清掃 「不法投棄ごみ撤去作業」

東三河(豊橋市)は530(ごみゼロ)運動の発祥の地であり、530運動環境協議会には地元の環境保全を呼びかける多くの市民グループや団体、ボランティアの方が参加しています。東三河支部からは

会員が積極的に参加し、汐川干潟クリーンアップ大作戦、駅前クリーンアップ作戦などで不法投棄ごみの撤去作業を行います。機材の協力としては、ユニック車やダンプカーを提供して回収されたごみの

運搬に協力。手際よく安全に処理する会員の姿は市民の皆様から信頼を得、地域の環境保全や産廃業界の社会的地位の向上に貢献しています。



## 食品廃棄物の不適正保管に係る撤去処理支援に協会員36社が協力

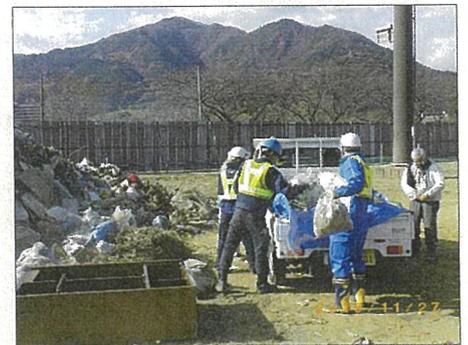
平成28年1月に、食品製造業者等から処分委託された食品廃棄物が、愛知県の産業廃棄物処理業者(ダイコー(株))により、食品として転売された事案が発覚しました。当該業者は大量の食品廃棄物を不適正に保管しており、悪臭や害虫の発生等による周辺環境への影響が懸念されたため、当協会は愛知県からの協力要請を受けて、協会員36社の協力を得て、撤去処理を無償で支援しました。



## 千曲市災害廃棄物処理支援に協会員44社が協力

令和元年10月、長野県千曲市を流れる千曲川が台風19号の豪雨で氾濫し、千曲川周辺の住宅街は浸水し大量の災害廃棄物が発生したため県内だけでは対応できないことから、行政機関を通して愛産協に支援要請があり、協会では「災害廃棄物処理対策に関する特別委員会」及び「臨時理事会」を開催し、広域支援に動き出しました。

この支援に協会員44社により、千曲市からの要請である災害廃棄物の仮置場の管理・運営・災害廃棄物の収集運搬、処分にあたりました。支援期間は令和元年11月11日～令和2年3月27日までの72日間、協会員は毎日寒空の中、早朝から日没までスケジュール管理に始まり、運搬から分別しにくい災害廃棄物などの処理に追われた日々を過ごしました。





No.	項目	ターゲット	ゴール
1	<b>協会の総会・理事会・委員会・部会の活動</b> ①総会(年1回)の開催 ②理事会(年6回)の開催 ③企画会議(年6回)の開催 ④適正処理委員会の開催(適正処理の推進等を検討) ⑤研修指導委員会の開催(視察研修会等の立案) ⑥広報編集委員会の開催(循環あいちの編集) ⑦福利厚生委員会の開催(親睦会等の福利厚生事業の立案) ⑧網紀特別委員会の開催(不適正処理事案への対応策を検討) ⑨安全衛生委員会の開催(安全衛生研修会等の立案) ⑩災害廃棄物処理対策に係る特別委員会の開催(県・市町村との協定に基づく対応等を検討) ⑪正副支部長会議の開催 ⑫建設廃棄物部会等の開催(適正処理の推進、処理業者の資質向上等を検討) ⑬印刷物にバナナペーパーの使用	1.5 貧困層・脆弱層の人々の強靱性を構築する 2.1 飢餓を撲滅し、安全で栄養のある食料を得られるようにする 4.4 働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする 11.6 廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす 11.b 総合的な災害リスク管理を策定し、実施する 12.5 廃棄物の発生を減らす 17.16 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する 17.17 効果的な公的、官民、社会生活のパートナーシップを推進する	     
2	<b>協会の6支部の活動</b> ①不法投棄防止パトロール等の実施 ②不法投棄物撤去作業の実施 ③地域産業廃棄物不法処理防止連絡協議会(愛知県主催)への参画 ④親睦ゴルフコンペ・ボウリング大会の実施 ⑤法令講習会、救命救急講習会等の研修会の実施 ⑥愛知県災害廃棄物処理図上演習、地域災害廃棄物処理連絡調整会議、防災訓練等への参画 ⑦視察研修会の実施	11.6 廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす 11.b 総合的な災害リスク管理を策定し、実施する 12.5 廃棄物の発生を減らす 14.1 海洋汚染を防止・削減する 14.2 海洋・沿岸の生態系を回復させる 15.1 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する 17.16 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する 17.17 効果的な公的、官民、社会生活のパートナーシップを推進する	    
3	<b>協会の青年部の活動</b> ①視察研修委員会(施設見学の実施) ②教育情報委員会(安全衛生に関する講演会の実施等) ③交流委員会(他団体と連携した交流事業の実施) ④広報委員会(ホームページの開設・維持管理)	17.16 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する 17.17 効果的な公的、官民、社会生活のパートナーシップを推進する	
4	<b>協会の女性部の活動</b> ①女性活躍推進セミナーの開催 ②救命救急講習会、防犯講習会等の実施 ③視察研修の実施 ④他団体女性部との交流事業の実施 ⑤使用済み切手の収集及び寄付	3.c 開発途上国における保健に関する財政・人材・能力を拡大させる 5.5 政治、経済、公共分野での意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する 5.b 女性の能力を強化する 17.17 効果的な公的、官民、社会生活のパートナーシップを推進する	  
5	<b>産業廃棄物処理に係る実務者研修会の開催</b>		
6	<b>安全衛生教育・研修の開催</b> ①事業主対象の労働安全衛生教育研修会の開催 ②新入社員安全衛生教育・研修の開催 ③職長安全衛生教育・研修の開催 ④産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会の開催 ⑤安全大会の開催	4.4 働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする	
7	<b>電子manifest運用支援の実施</b> ①セミナー等の開催時における電子manifestの説明 ②電子manifest操作体験セミナーの開催 ③電子manifest導入実務研修会の開催		
8	<b>エコアクション21認証取得セミナーの共催</b>		
9	<b>普及・啓発事業の実施</b> ①機関誌「循環あいち」の発行 ②ホームページリアルタイム更新 ③「月刊インダスト」の配布 ④産業廃棄物処理業許可更新情報の提供 ⑤夏休み「親子で環境・資源リサイクル体験ツアー」の開催 ⑥小学校への朝日小学生新聞の提供 ⑦名古屋市「環境デー」協賛イベントへの参加 ⑧愛知県「エコアクション推進フェア」への参加 ⑨もりの学舎自然学校におけるCSR活動への協賛 ⑩産業廃棄物関連記事「切り抜きダイジェスト版」の発行	4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする 11.6 廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす 17.16 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する 17.17 効果的な公的、官民、社会生活のパートナーシップを推進する	  



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

No.	項目	ターゲット	ゴール
10	<b>不法処理防止活動の実施</b> ①不法投棄防止パトロール等の実施 ②不法投棄物撤去作業の実施 (藤前干潟[名古屋支部・尾張西支部・尾張北支部]、 逢妻川河川敷[西三河支部]、汐川干潟[東三河支部]等)	11.6 廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす 12.5 廃棄物の発生を減らす 14.1 海洋汚染を防止・削減する 14.2 海洋・沿岸の生態系を回復させる 15.1 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する	   
11	<b>関係行政機関等との連携</b> ①県・市行政との懇談会開催 ②豊田市産業廃棄物処理業者のための廃棄物適正処理講習会への後援 ③ごみゼロ社会推進あいち県民会議への参画 ④Let's エコアクション in AICHIへの参画 ⑤産業廃棄物処理業者優良化セミナーの共催 ⑥産業廃棄物排出事業者セミナーの共催 ⑦アスベスト対策に関する講習会(愛知県アスベスト対策協議会主催)への参加 ⑧愛知県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会への協力	17.16 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する 17.17 効果的な公的、官民、社会生活のパートナーシップを推進する	
12	<b>関係団体等との連携</b> ①エコアクション21地域事務局あいち運営委員会への参画 ②愛知県衛生事業協同組合との連携 ③名古屋市一般廃棄物事業協同組合との連携 ④産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナーへの参加 ⑤名古屋大学協会への参画 ⑥アセック廃棄物セミナーへの参加 ⑦(公財)愛知臨海環境整備センターとの連携 ⑧愛知県中小企業団体中央会との連携 ⑨業許可講習会講師研修会への参加		
13	<b>(公社)全国産業資源循環連合会との連携</b> ①「産業廃棄物と環境を考える全国大会」への参加 ②全国正会員会長・理事長会議への参加 ③連合会主催の各種会議・研修会等への参加 ④中部地域協議会の開催		
14	<b>マニフェスト伝票の頒布</b>	11.6 廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす 12.5 廃棄物の発生を減らす	 
15	<b>(公財)日本産業廃棄物処理振興センター主催講習会への協力</b>	11.6 廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす 12.5 廃棄物の発生を減らす	 
16	<b>(公財)暴力追放愛知県民会議等との連携</b> ①暴力追放推進委員委嘱式・研修会への参加 ②愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会総会の開催 ③不当要求防止責任者講習会への参加 ④安全なまちづくり愛知県民大会への参加 ⑤愛知県暴力排除団体連絡会議への参画 ⑥暴力追放セミナーへの参加	16.4 組織犯罪をなくす	
17	<b>災害廃棄物処理関係事業</b> ①「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」の県内全54市町村との締結 ②愛知県災害廃棄物処理図上演習への参画 ③愛知県災害廃棄物処理研修への参加 ④「大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会」への参画(環境省中部地方環境事務所主催) ⑤中部ブロック災害廃棄物対策セミナーへの参加 ⑥防災推進国民大会への参画	11.6 廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす 11.b 総合的な災害リスク管理を策定し、実施する 13.1 気候関連災害や自然災害に対する強靱性と適応能力を強化する 14.1 海洋汚染を防止・削減する 14.2 海洋・沿岸の生態系を回復させる 15.1 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する	   
18	<b>災害廃棄物処理の広域支援</b> 「令和元年台風19号による長野県千曲市の災害廃棄物処理の支援」 ①仮置場の管理・運営業務 ②仮置場からの運搬業務及び処分業務 ③仮置場鋤取り土砂の運搬業務及び処分業務	14.1 海洋汚染を防止・削減する 14.2 海洋・沿岸の生態系を回復させる 15.1 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する	 
19	<b>大規模災害に備えた「愛産協 業務継続計画」の会員情報等の更新</b>		
20	<b>緊急通報・安否確認システムの導入・整備及び通信訓練の実施</b>		



# 表彰一覧

2011 (平成23年度)	2012 (平成24年度)	2013 (平成25年度)	2014 (平成26年度)
<p>●愛知県表彰条例 (環境保全関係功労者表彰) 相木 邦昭/オオプユニティ(株) (他団体で受賞)</p> <p>●愛知県知事表彰 (環境衛生事業功労者表彰) 平沼 辰雄/㈱リバイブ</p>	<p>●愛知県表彰条例 (環境保全関係功労者表彰) 堀川 政男/㈱アメニティライフ (他団体で受賞)</p> <p>●安全優良職長厚生労働大臣顕彰 木下 光幸/加山興業(株)</p> <p>●環境大臣表彰 (循環型社会形成推進功労者等 3R活動優良企業表彰) ㈱ダイセキ</p> <p>●環境大臣表彰 (産業廃棄物関係功労者表彰) 彦坂 孝明/㈱エムエムアイ</p>	<p>●愛知県表彰条例 (環境保全関係功労者表彰) 永井 良一/永一産商(株)</p> <p>●愛知県知事表彰 (環境衛生事業功労者表彰) 新家 義彦/㈱ホクトサービス</p> <p>●2013愛知環境賞 東邦ガス(株) (株)アビゾ</p>	<p>●旭日双光章 相木 邦昭/オオプユニティ(株) (他団体で受賞)</p> <p>●環境大臣表彰 (産業廃棄物関係功労者表彰) 平沼 辰雄/㈱リバイブ</p> <p>●2014愛知環境賞 (㈱ダイセキ環境ソリューション プラザー工業(株)</p>
<p>(公社)全産連会長表彰</p> <p>■功労者表彰 堀川 政男/㈱アメニティライフ</p> <p>■優良事業所表彰 豊田ケミカルエンジニアリング(株)</p> <p>■地方優良事業所表彰 ㈱竹 常 ㈱金属資源開発商会</p> <p>■優良従事者表彰 安田美沙子/㈱安田建材 坂口 修二/オオプユニティ(株) 笛木 則男/中部保全(株) 筒井 宏一/㈱山治紙業</p>	<p>(公社)全産連会長表彰</p> <p>■功労者表彰 加山 昌弘/加山興業(株)</p> <p>■優良事業所表彰 ㈱鈴 鍵</p> <p>■地方功労者表彰 小島 晃/㈱明輝クリーナー 石川 信夫/㈱アイミ</p> <p>■地方優良事業所表彰 サンコーリサイクル(株) 近藤商事土木(株) ㈱松井工業</p> <p>■優良従事者表彰 水野 良夫/中部リサイクル(株) 富田 昭夫/㈱富田商店 大宮満寿男/㈱長田清掃 佐藤 正仁/㈱テクア 金森 錦司/サンエイ(株) 藤下 喜之/㈱トヨジン</p>	<p>(公社)全産連会長表彰</p> <p>■功労者表彰 伊藤 博之/㈱ダイセキ</p> <p>■地方功労者表彰 梶田 弘/㈱(一社)愛知県建設業協会 梅村 正裕/㈱鈴鍵</p> <p>■地方優良事業所表彰 名古屋コンテナ(株) コスモリサイクル(株) 三洲土木(株)</p> <p>■優良従事者表彰 今井 光一/㈱西山商店 松村 保/高和興業(株) 守山 範一/名環サービス(株) 瀬戸 雅也/協材砕石(株) 浦野 勝広/中部保全(株) 五箇 富雄/㈱エムエムアイ</p>	<p>(公社)全産連会長表彰</p> <p>■優良事業所表彰 オオプユニティ(株)</p> <p>■地方功労者表彰 金田 英和/サンコーリサイクル(株) 近藤 千雅/中部保全(株)</p> <p>■地方優良事業所表彰 豊田ケミカルエンジニアリング(株) ㈱三河オイルセンター ㈱明輝クリーナー</p> <p>■優良従事者表彰 伊藤 健一/㈱竹 常 新美 英人/㈱丸 新 石川 隆幸/㈱東伸サービス 山中 博昭/サンコーリサイクル(株) 荒井 和一/サンエイ(株) 千田 慶/㈱ビソール環境</p>
<p>(社)愛産協会会長表彰</p> <p>【功労者表彰】 金田 英和/サンコーリサイクル(株) 金安 栄九/㈱ヤマガネ商事 井本 太郎/㈱イモト</p> <p>【優良事業所表彰】 岩間造園(株) ㈱宮 崎 ㈱リョクリン</p> <p>【優良従事者表彰】 水野 英明/太平産業(株) 桑原 尚己/㈱シミズ 石田 忠雄/中部リサイクル(株) 佐藤 智和/高和興業(株) 中島 博史/昭栄金属(株) 吉田 高行/㈱伸和環境 杉浦土比利/㈱東伸サービス 榊原 勤次/豊田ケミカルエンジニアリング(株) 平村 成二/㈱テクア 今村 博文/石橋建設興業(株) 大橋 久子/㈱鈴 鍵 井上 泰宏/パワーシステムサービス(株) 村田 護/サーラ物流(株)</p>	<p>(一社)愛産協会会長表彰</p> <p>【功労者表彰】 松原 高治/㈱ユニオンサービス 金光 相雲/㈱金 光 藤本 セツ子/㈱フジモト</p> <p>【優良事業所表彰】 ㈱タツノ開発 ㈱三河オイルセンター 三州建設(株)</p> <p>【優良従事者表彰】 玉木 昭光/㈱リバイブ 吉川 政一/名古屋コンテナ(株) 早川 行春/㈱富士石油商会 山崎 永嗣/㈱尾張商事 奥村 彰一/㈱福 芳 水野 清高/坪井金属(株) 瀬戸口正海/クリーン開発(株) 石川 郁雄/協材砕石(株) 榊原 正己/㈱野間砂鋳業所 鳥居 聡/㈱アイミ 酒井 邦雄/岡崎技研(株) 小林 耕三/㈱吉田商会 彦坂 真樹/㈱エムエムアイ</p>	<p>(一社)愛産協会会長表彰</p> <p>【特別功労者表彰】 伊藤 博之/㈱ダイセキ 水野 良夫/中部リサイクル(株) 佐藤 正行/サトマサ(株) 梶田 弘/㈱(一社)愛知県建設業協会</p> <p>【功労者表彰】 都筑 武満/㈱野間砂鋳業所 板倉 重治/高岡造園土木(株) 筒井 宏一/㈱山治紙業</p> <p>【優良事業所表彰】 ㈱竹 常 高和興業(株) ㈱伸和環境</p> <p>【優良従事者表彰】 伊藤登志雄/㈱シミズ 町田 豊/㈱西山商店 小林 嘉光/永一産商(株) 辻上 長憲/㈱丸彦組 富田 順一/㈱富田商店 小島 大輔/㈱リョクリン 本田 歳一/㈱新栄重機 鈴木 原太/㈱エイゼン 岡田 和美/㈱上野清掃社 岩瀬 雅士/㈱エヌジェイエス 丹羽 庸介/㈱鈴 鍵 津田 秀平/㈱ダイワ 中尾 茂弘/㈱マルサワ</p>	<p>(一社)愛産協会会長表彰</p> <p>【功労者表彰】 清水 善実/㈱シミズ 鶴山 圭一/㈱星野産商 川合 邦史/㈱リプロ 石山 進/㈱エヌジェイエス</p> <p>【会長特別表彰】 大家 健雄</p> <p>【優良事業所表彰】 久栄運輸(株) 河木興業(株) 田原環境サービス(株)</p> <p>【優良従事者表彰】 今泉 正雄/㈱コスモス・エコ研究所 新井 松男/㈱三洋サービス 杉戸 秀自/㈱森田商店 後久 哲也/㈱オカダ 永井 雅大/永井産業(株) 斉木 浩司/大和エンタープライズ(株) 長谷川勝己/誠美社工業(株) 藤井 博文/協材砕石(株) 都筑 章/㈱野間砂鋳業所 蛭川 俊/高岡造園土木(株) 羽柴 教一/石橋建設興業(株) 柴田 拓秀/㈱村田建材 鈴木 厚司/㈱松井工業</p>



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

2015 (平成27年度)	2016 (平成28年度)	2017 (平成29年度)
<p>●愛知県表彰条例 (環境保全関係功労者表彰) 加山 昌弘/加山興業(株) 平村 成一/㈱テックア(他団体で受賞)</p> <p>●環境大臣表彰 (産業廃棄物関係功労者表彰) 新家 義彦/㈱ホクトサービス</p>	<p>●環境大臣表彰 (産業廃棄物関係功労者表彰) 梅村 正裕/㈱鈴鍵(他団体で受賞)</p> <p>●愛知県知事表彰 (環境衛生事業功労者表彰) 石川 信夫/㈱アイミ</p> <p>【食品廃棄物の撤去処理に係る 愛知県知事感謝状】</p> <p>●廃棄物処理業界団体 (一社)愛知県産業廃棄物協会</p> <p>●廃棄物処分量 オオブユニティ(株) サンエイ(株) 豊田ケミカルエンジニアリング(株) 公益財団法人 愛知臨海環境整備センター</p> <p>●産業廃棄物収集運搬業 ㈱愛西クリーンセンター IBミヤザワ(株) ㈱海部清掃 ㈱アメニティライフ ㈱上野清掃社 永一産商(株) ㈱エイゼン ㈱エコ・ボリス ㈱金 光 ㈱紙資源名古屋 ㈱クリンテック ㈱ケイ・サボート ㈱コンフォート ㈱三 輝 サンスイサービス(株) 三和清掃(株) ㈱シミズ 昭和サービス(株) ㈱伸和环境 第一環境(株) 大昭工業(株) ㈱ダイセキ ㈱タツノ開発 坪井金属(株) ㈱ディーアイディー ㈱東伸サービス ㈱富田商店 永井産業(株) 名古屋コンテナー(株) ㈱ホクトサービス ㈱リョクリン</p>	<p>●愛知県表彰条例 (環境保全関係功労者表彰) 平沼 辰雄/㈱リバイブ</p> <p>●環境大臣表彰 (産業廃棄物関係功労者表彰) 石川 信夫/㈱アイミ</p> <p>●愛知県知事表彰 (環境衛生事業功労者表彰) 金田 英和/サンコーリサイクル(株)</p> <p>●2017愛知環境賞 ㈱紅久商店 ㈱ダイセキ</p>
<p>(公社)全産連会長表彰</p> <p>■功労者表彰 石山 進/㈱エヌジェイエス</p> <p>■優良事業所表彰 ㈱東伸サービス</p> <p>■地方功労者表彰 高木 英泰/㈱富士石油商会 門川 浩人/㈱竹 常</p> <p>■地方優良事業所表彰 ㈱シミズ ㈱アメニティライフ ㈱尾張クリーンバイブ</p> <p>■優良従事者表彰 古井 和弘/㈱浅井商店 富田 順一/㈱富田商店 齋木 浩司/大和エンタープライズ(株) 平村 成一/㈱テックア 大橋 久子/㈱鈴 鍵 宮城 朗子/加山興業(株)</p>	<p>(公社)全産連会長表彰</p> <p>■功労者表彰 小島 晃/㈱明輝クリーナー</p> <p>■優良事業所表彰 ㈱三洋サービス/代表者 新美 三良</p> <p>■地方功労者表彰 竹内 良一/名環サービス(株) 西山 幸光/㈱西山商店</p> <p>■地方優良事業所表彰 ㈱日 誠 ㈱大心実業 ㈱マルコー商会</p> <p>■優良従事者表彰 早川 行春/㈱富士石油商会 辻上 長憲/㈱丸彦組 長谷川勝己/誠美社工業(株) 厚ヶ瀬賢二/㈱日 誠 酒井 邦雄/岡崎技研(株) 小嶋大二郎/前芝建材(株)</p>	<p>(公社)全産連会長表彰</p> <p>■功労者表彰 新家 義彦/㈱ホクトサービス</p> <p>■地方功労者表彰 中野 兼司/㈱東伸サービス 新美 三良/㈱三洋サービス</p> <p>■地方優良事業所表彰 岩間造園(株) 高和興業(株) ㈱リアロ</p> <p>■優良従事者表彰 宮崎 伸之/名古屋コンテナー(株) 山本 哲哉/㈱新栄工業 永田 幹人/㈱エイゼン 鳥居 聡/㈱アイミ 彦坂 真樹/㈱エムエムアイ 北河 亮人/㈱リサイクルリング産業</p>
<p>(一社)愛産協会会長表彰</p> <p>【特別功労者表彰】 相木 邦昭/オオブユニティ(株) 杉山 徳雄/名古屋菱重興産(株) 長崎 正敏/㈱トヨジン 浅井 明利/㈱浅井商店</p> <p>【功労者表彰】 永田 喜裕/㈱エイゼン 中嶋 政秋/長坂建設興業(株) 伊藤 良文/㈱マルサワ</p> <p>【優良事業所表彰】 名古屋コンテナー(株) ㈱富田商店 ㈱新栄工業</p> <p>【優良従事者表彰】 横井 歩/㈱三洋サービス 熊澤 修次/フルハンEPO(株) 山本 英之/明倫運輸(株) 説田 昇/㈱クリンテック 八木 浩二/サトマサ(株) 奥村 勇/㈱伸和环境 松浦 孝志/㈱リアロ 森 智道/㈱知多環境保全センター 吉田 潤司/㈱トウチュウ 後藤 緑/㈱大心実業 川村 秀隆/㈱ヤマガネ商事 合志 一幸/㈱マルコー商会 飯田 宏之/㈱明輝クリーナー</p>	<p>(一社)愛産協会会長表彰</p> <p>【功労者表彰】 伊藤 泰雄/㈱ダイセキ 東 賢一/㈱クリンテック 中野 兼司/㈱東伸サービス</p> <p>【優良事業所表彰】 サンコーリサイクル(株) ㈱エヌジェイエス ㈱山治紙業</p> <p>【優良従事者表彰】 永井 弘児/永一産商(株) 福手 恭宣/大矢建設(株) 松原 正治/㈱ユニオンサービス 藤原 和徳/㈱東海技建 伊藤 大蔵/㈱丸公建材 安永 勝/美濃金属(株) 山本 哲哉/㈱新栄工業 佐藤 正仁/㈱テックア 武野 剛/㈱上野清掃社 松田 重隆/中部保全(株) 伊藤 喜朗/豊栄化学(株) 高橋 剛/㈱マルサワ 石黒 教督/サーラ物流(株)</p>	<p>(一社)愛産協会会長表彰</p> <p>【特別功労者表彰】 石山 進/㈱エヌジェイエス 梅村 正裕/㈱鈴 鍵 黒川 明/福田三商(株) 石川 延宏/東亞合成(株) 竹内 良一/名環サービス(株) 門川 浩人/㈱竹 常 鬼頭 正克/(一社)愛知県建設業協会 永田 幹人/㈱エイゼン 高木 英泰/㈱富士石油商会</p> <p>【功労者表彰】 相木 徹/オオブユニティ(株) 八代 信/㈱三河オイルセンター 安井 康二/前芝建材(株)</p> <p>【優良事業所表彰】 ㈱浅井商店 ㈱クリンテック 名環サービス(株)</p> <p>【優良従事者表彰】 井村 健/㈱ヒロコム 細川 恵示/㈱ゼンユー 富吉 裕二/㈱エコフォレスト 後藤 茂雄/丸真(株) 村雲 康晴/㈱ディーアイディー 佐々木正一/㈱長田清掃 鈴木 英成/㈱伸和环境 榊原 修司/㈱アグメント 伊山 貴章/㈱中部リサイクル工業 杉山 親友/サンエイ(株) 磯部 智宏/㈱生駒組 高山 昇/㈱サンヨウ 清水 光永/㈱清水商店</p>



# 表彰一覧

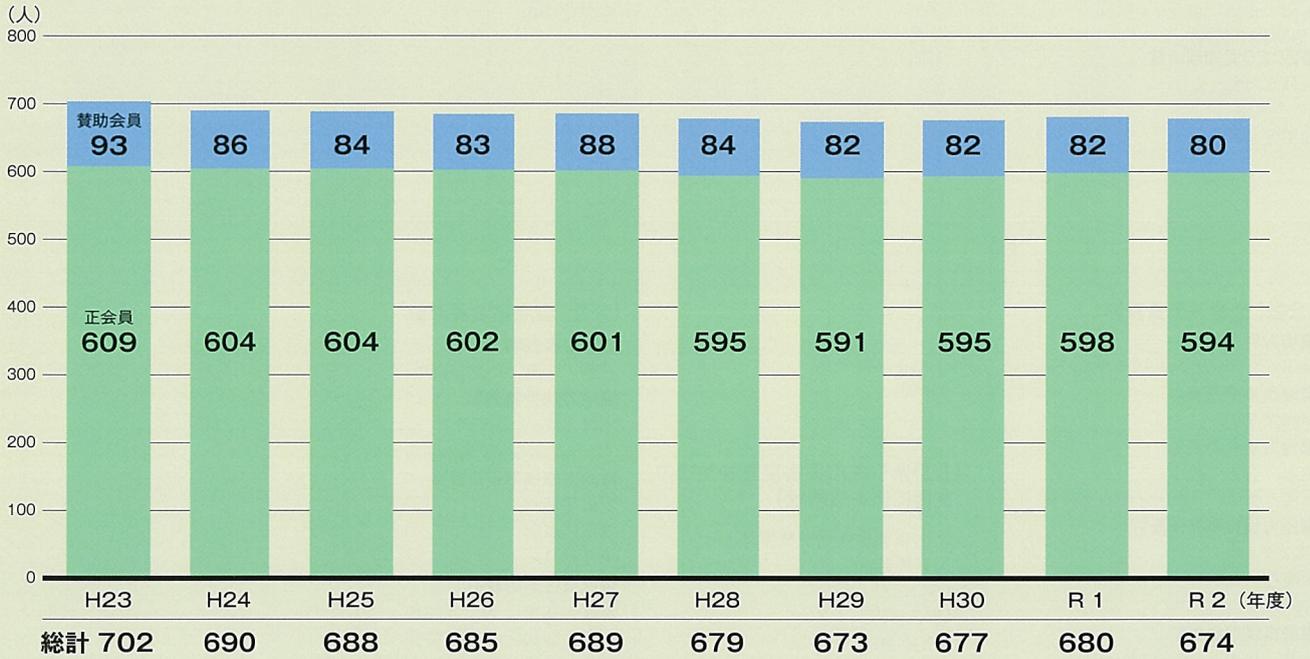
2017 (平成29年度)	2018 (平成30年度)	2019 (令和元年)
	<p>●旭日単光章 加山 昌弘/加山興業(株)</p> <p>●環境大臣表彰 (産業廃棄物関係功労者表彰) 金田 英和/サンコーリサイクル(株)</p> <p>●愛知県知事表彰 (環境衛生事業功労者表彰) 近藤 千雅/中部保全(株) 新美 三良/南三洋サービス (他団体で受賞)</p> <p>●2018愛知環境賞 アルメック(株) (株)毎日商会</p>	<p>●旭日単光章 加山 昌弘/加山興業(株)</p> <p>●環境大臣表彰 (産業廃棄物関係功労者表彰) 近藤 千雅/中部保全(株)</p> <p>●2019愛知環境賞 ブラザー工業(株) (株)マルコー商会</p>
	<p>(公社)全産連会長表彰</p> <p>■優良事業所表彰 (株)リバイブ</p> <p>■地方功労者表彰 鶴山 圭一/(株)星野産商 松井 忠博/(有)松井工業</p> <p>■地方優良事業所表彰 (株)タツノ開発 河木興業(株) 三州建設(株)</p> <p>■優良従事者表彰 山口 節夫/(株)ダイエーディスボウズ 山崎 永嗣/(有)尾張商事 伊藤 典之/名環サービス(株) 吉田 潤司/(株)トウチュウ 鏡 昭夫/(有)ヤマガネ商事 伊藤 良文/(株)マルサワ</p>	<p>(公社)全産連会長表彰</p> <p>■功労者表彰 石川 信夫/(有)アイミ</p> <p>■優良事業所表彰 (株)シミズ</p> <p>■地方功労者表彰 富田 昭夫/(株)富田商店 金田 英治/三洲土木(株)</p> <p>■地方優良事業所表彰 (有)浅井商店 (株)金光 大和エンタープライズ(株)</p> <p>■優良従事者表彰 桑原 尚己/(株)シミズ 中島 博史/昭栄金属(株) 宮下 勝/三洲土木(株) 堀切 勝善/(株)テクア 長江 陽平/(有)花丘商事 清水 光永/(有)清水商店</p>
<p><b>【食品廃棄物の撤去処理に係る 会長感謝状】</b></p> <p>IBミヤザワ(株) (有)ケイ・サポート (有)愛西クリーンセンター (株)タツノ開発 (株)海部清掃 オオプユニティ(株) (株)アメニティライフ サンエイ(株) (株)金 光 豊田ケミカルエンジニアリング(株) (株)クリンテック (公財)愛知臨海環境整備センター (株)コンフォート (株)ディーアイディー (株)富田商店 永井産業(株) (有)ホクトサービス 永一産商(株) (株)エコ・ボリス サンスイサービス(株) (株)シミズ 昭和サービス(株) 大昭工業(株) (株)ダイセキ 名古屋コンテナ(株) (株)紙資源名古屋 (株)三 輝 三和清掃(株) (有)仲和環境 第一環境(株) 坪井金属(有) (株)東伸サービス フジ建設(株) (株)リョクリン (株)上野清掃社 (株)エイゼン</p>	<p>(一社)愛産協会長表彰</p> <p>【功労者表彰】 熊澤 修次/フルハシEPO(株) 富田 昭夫/(株)富田商店 金田 英治/三洲土木(株)</p> <p>【優良事業所表彰】 (株)アグメント 岡崎技研(株) (株)ダイワ</p> <p>【優良従事者表彰】 近藤総一郎/近藤産興(株) 周戸 智保/(株)ダイセキ 大岩 憲幸/(株)力 組 江上 吉一/(有)ホクトサービス 鬼頭 学/丸真(株) 松本 幸次/(株)東伸サービス 岩淵 滋/(株)リョクリン 堀切 勝善/(株)テクア 平島 啓司/トーエイ(株) 藤田 末弘/(有)生駒組 加藤 秀夫/(有)O.W.M 飯尾 裕之/(株)ミダック 鈴木 正敏/(株)加藤解体工業</p>	<p>(一社)愛産協会長表彰</p> <p>【特別功労者表彰】 小島 晃/(株)明輝クリーナー 平沼 辰雄/(株)リバイブ 加山 昌弘/加山興業(株) 石川 信夫/(有)アイミ</p> <p>【功労者表彰】 中嶋 久則/久栄運輸(株) 丹羽 庸介/(株)鈴 鍵 竹内臨通夫/三州建設(株)</p> <p>【優良事業所表彰】 明倫運輸(株) 丸 真(株) (有)愛知環境センター 中部保全(株)</p> <p>【優良従事者表彰】 平田 博司/(有)浅井商店 石原 勝久/名古屋コンテナ(株) 天野 幹也/フルハシEPO(株) 内村 匡/(株)星野産商 藤原 司/(有)丸公建材 山中 心/(株)長田清掃 堤 鉄哉/クリーン開発(株) 小林 博/(株)野間砂鉄業所 小久保 浩/(株)エイゼン 中野 健二/(有)大心実業 池田 浩/(株)エヌジェイエス 世田 卓身/神野オイルセンター(株) 中西 雅祥/前芝建材(株)</p>



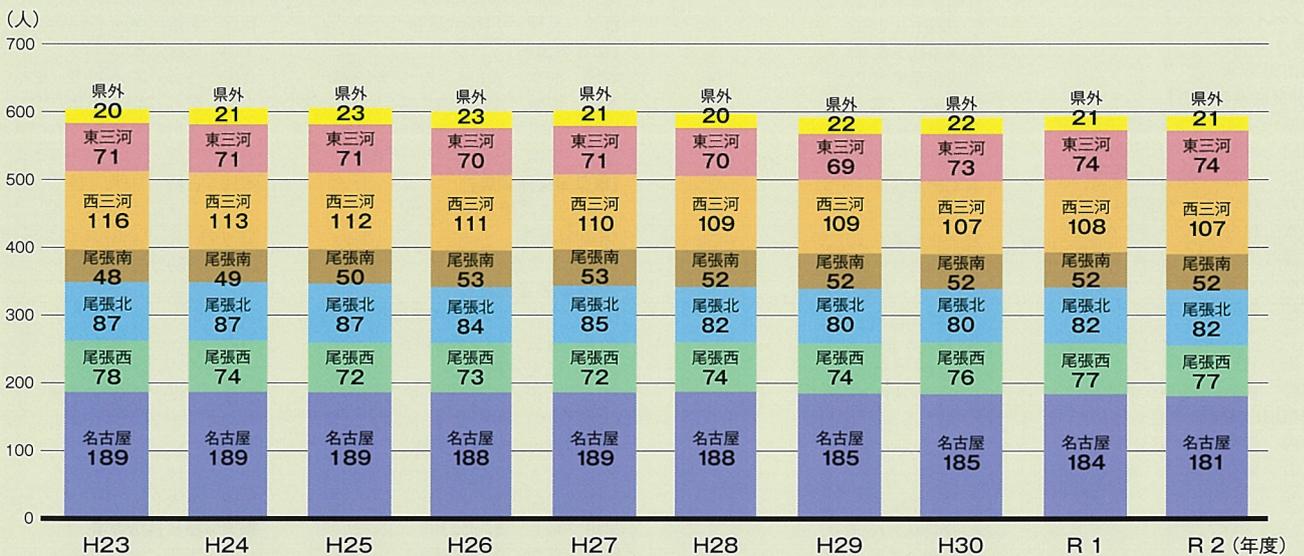
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

2020 (令和2年度)	2021 (令和3年度)
<p>●愛知県表彰条例 (環境保全関係功労者表彰) 永田 喜裕 / (株)エイゼン (他団体で受賞) ●2020愛知環境賞 東邦ガス(株) (株)小榎屋 太平産業(株)</p>	<p>●2021愛知環境賞 加山興業(株) 豊栄化学(株)</p>
<p>(公社)全産連会長表彰 ■功労者表彰 金田 英和 / サンコーリサイクル(株) ■優良事業所表彰 中部保全(株) ■地方功労者表彰 清水 善実 / (株)シミズ 鬼頭 秀幸 / (有)リサイクリング産業 ■地方優良事業所表彰 (株)アグメント 岡崎技研(株) (株)イモト ■優良従事者表彰 新井 松男 / (有)三洋サービス 内村 匡 / (株)星野産商 今村 政宏 / (株)新栄重機 都筑 章 / (株)野間砂鉱業所 池田 浩 / (株)エヌジェイエス 小林 耕三 / (株)吉田商会</p>	<p>(公社)全産連会長表彰 ■功労者表彰 近藤 千雅 / 中部保全(株) ■地方功労者表彰 平村 成一 / (株)テクア 清水 宏臣 / (有)清水商店 ■地方優良事業所表彰 明倫運輸(株) (株)富田商店 (株)リョクリン ■優良従事者表彰 永井 弘兎 / 永一産商(株) 佐藤 智和 / 高和興業(株) 新井 長清 / 大和エンタープライズ(株) 尾之内 昇 / 久栄運輸(株) 岩瀬 雅士 / (株)エヌジェイエス 笠原 典嗣 / (有)リサイクリング産業</p>
<p>(一社)愛産協会会長表彰 【功労者表彰】 永井 弘兎 / 永一産商(株) 鬼頭 弘 / 丸 真(株) 東久保真弓 / (有)愛知環境センター 【優良事業所表彰】 インセント(株) (有)O.W.M 加山興業(株) 【優良従事者表彰】 藤原 憲 / サンスイサービス(株) 堀田 和明 / 中部リサイクル(株) 石川 明 / (株)南部企業 藤井 隆之 / (株)海部清掃 藤本 和也 / (株)ワールドクリーン 近藤 浩平 / 坪井金属(有) 伊吹 令 / (有)リョクリン 宮崎 宏樹 / 豊田ケミカル エンジニアリング(株) 井上 利男 / (株)日 誠 天野 貴浩 / (有)渥美商会 羽根田由希 / 近藤商事土木(株) 竹内 貴紹 / 三州建設(株) 巴山 晃史 / (有)丸 富</p>	<p>[長野県千曲市災害廃棄物処理の 支援に係る感謝状] (公財)愛知臨海環境整備センター 朝日金属(株) (株)アビゾ (株)海部清掃 インセント(株) 永一産商(株) (株)エイゼン オオブユニティ(株) 加山興業(株) (有)CLEANUPHEIWA クリーン開発(株) 高和興業(株) 近藤商事土木(株) (株)サニックス サンエイ(株) サンコーリサイクル(株) (株)シミズ 昭栄金属(株) (株)SHOUTEC 誠美社工業(株) 成和环境(株) (株)相 建 (株)ダイセキ (株)ダイセキ環境ソリューション 大徳運輸(株) 中部保全(株) 坪井金属(有) (株)東伸サービス トーエイ(株) (株)富田商店 トヨキン(株) 永井産業(株) 名古屋埠頭(株) フルハシEPO(株) ホームックス(株) マルヒコ(有) 丸安運輸(株) (株)明輝クリーナー (株)名大産商 明倫運輸(株) 木材開発(株) (有)山田商会 (株)リバイブ (株)リョクリン</p> <p>(一社)愛産協会会長表彰 【特別功労者表彰】 新家 義彦 / (有)ホクトサービス 金田 英治 / 三洲土木(株) 中嶋 政秋 / 長坂建設興業 梅谷 岳志 / (有)花丘商事 藤原 亮輔 / アロン化成(株) 【功労者表彰】 南村 朋幸 / 大和エンタープライズ(株) 木村 照始 / 豊田ケミカルエンジニアリング(株) 梅谷 岳志 / (有)花丘商事 富田 雅則 / 田原環境サービス(株) 【優良事業所表彰】 (株)ダイセキ環境ソリューション 昭栄金属(株) 誠美社工業(株) 【優良従事者表彰】 松竹 冬樹 / (株)ダイセキ環境ソリューション 竹下 勇気 / 名古屋埠頭(株) 赤池 弘充 / (株)アビゾ 高山 正 / IBミヤザワ(株) 中村 史朗 / (株)クレンテック 今村 昌根 / (株)新栄重機 大山 真人 / 名環サービス(株) 山田 真広 / アルメック(株) 里山 裕晃 / インセント(株) 柴田 真理 / 岡崎技研(株) 南 勝利 / (有)花丘商事 中村 尊 / (有)ビソ環境 萩原 広信 / (株)エムエムアイ</p> <p>【協会設立30周年記念表彰】 (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰 ■功労者 永井 良一 / 永一産商(株) (一社)愛知県産業資源循環協会会長表彰 ■役員功労者 新美 三良 / (有)三洋サービス 伊藤 泰雄 / (株)ダイセキ 平沼 辰雄 / (株)リバイブ 新家 義彦 / (有)ホクトサービス 中野 兼司 / (株)東伸サービス 金田 英和 / サンコーリサイクル(株) 石山 進 / (株)エヌジェイエス 梅村 正裕 / (株)鈴 鍵 近藤 千雅 / 中部保全(株) 故 小島 晃 / 元(株)明輝クリーナー ■支部長功労者 清水 善実 / (株)シミズ 富田 昭夫 / (株)富田商店 竹内 良一 / 名環サービス(株) 金田 英治 / 三洲土木(株) 天野 邦彦 / 岡崎技研(株) 梅谷 岳志 / (有)花丘商事 長崎 正敏 / (株)トヨジン 松井 忠博 / (有)松井工業 鬼頭 秀幸 / (有)リサイクリング産業 ■青年部会長功労者 浅井 明利 / (有)浅井商店 永田 幹人 / (株)エイゼン 近藤 大樹 / 中部保全(株) 金田 琳 / サンコーリサイクル(株) ■女性部会長功労者 東久保真弓 / (有)愛知環境センター</p>

### 総会員数



### 支部別正会員数





---

## 編集後記

---

今回、委員長として30周年を迎えるにあたり「30周年プロジェクト委員会」を立ち上げ、30周年イベントに関わる企画等々を考える役割を仰せつかりました。

しかし、ご承知の通り、国内や世界中がコロナ禍でイベント等の開催は不可能となりました。愛産協の諸先輩方にご尽力を賜り、「一般社団法人愛知県産業廃棄物協会」は立ち上げから30年を迎えられるという記念の年ではありますが、非常に残念でなりません。

30年と一口にいうのは簡単ではありますが、世の中と同時に産業廃棄物処理業界も大きく移り変わりました。設立時は適正処理、法令順守が叫ばれましたが、今は処理から資源循環へシフトを変え、世界中でSDGs(持続可能な開発目標)を掲げ取り組んでおります。

我々の協会も本年より「一般社団法人愛知県産業資源循環協会」と名称を変更し、新たな第一歩を踏み出しました。

30周年のテーマが「未来のために私たちができること～環境と調和そして共存へ～」となっております。SDGs(持続可能な開発目標)も関連させ、改めて愛産協の様々な活動や既に実施していることが、SDGsに大きく関わっていることを認識すると同時に確認することから始め、30周年記念品の一つとしてバナナペーパーで「SDGsノート」を作成し、会員の皆様や外部の皆様方にも我々の活動をご理解していただけるように進めてまいりました。

現在、ESG(環境、社会、統治)という観点から、社会や環境に配慮しない企業は価値が低く見られ、就職活動においても学生に「御社は環境や社会に対して、どの様な配慮をしていますか?」との質問に的確に答えなくてはなりません。コロナ禍で大きく変化する社会の中、「生き残る会社・業界」を求める次世代の現実があります。我々は「評論家」ではなく、「実践者」であることを忘れてはなりません。だとすれば我々に必要なことは、「Backcasting・バックキャストイング」(未来の姿から逆算して現在の施策を考える発想)つまり、予測するのではなく、5年後どうなりたいか。10年後どうなっていたいか。産業廃棄物処理業界をどうしたいのか。それぞれ自分たちで考えることが先ずはとても重要であり、今、何をしなければいけないかがそこで初めて明確になるのではないのでしょうか。持続的な企業及び産業廃棄物処理業界の価値創造を実現するために、令和の時代になっても引き続き知恵を出し続け、実践しなければならないことが数多くあります。皆様と共にSDGsを理解し、行動で示しながら次世代に繋いでいこうではありませんか。

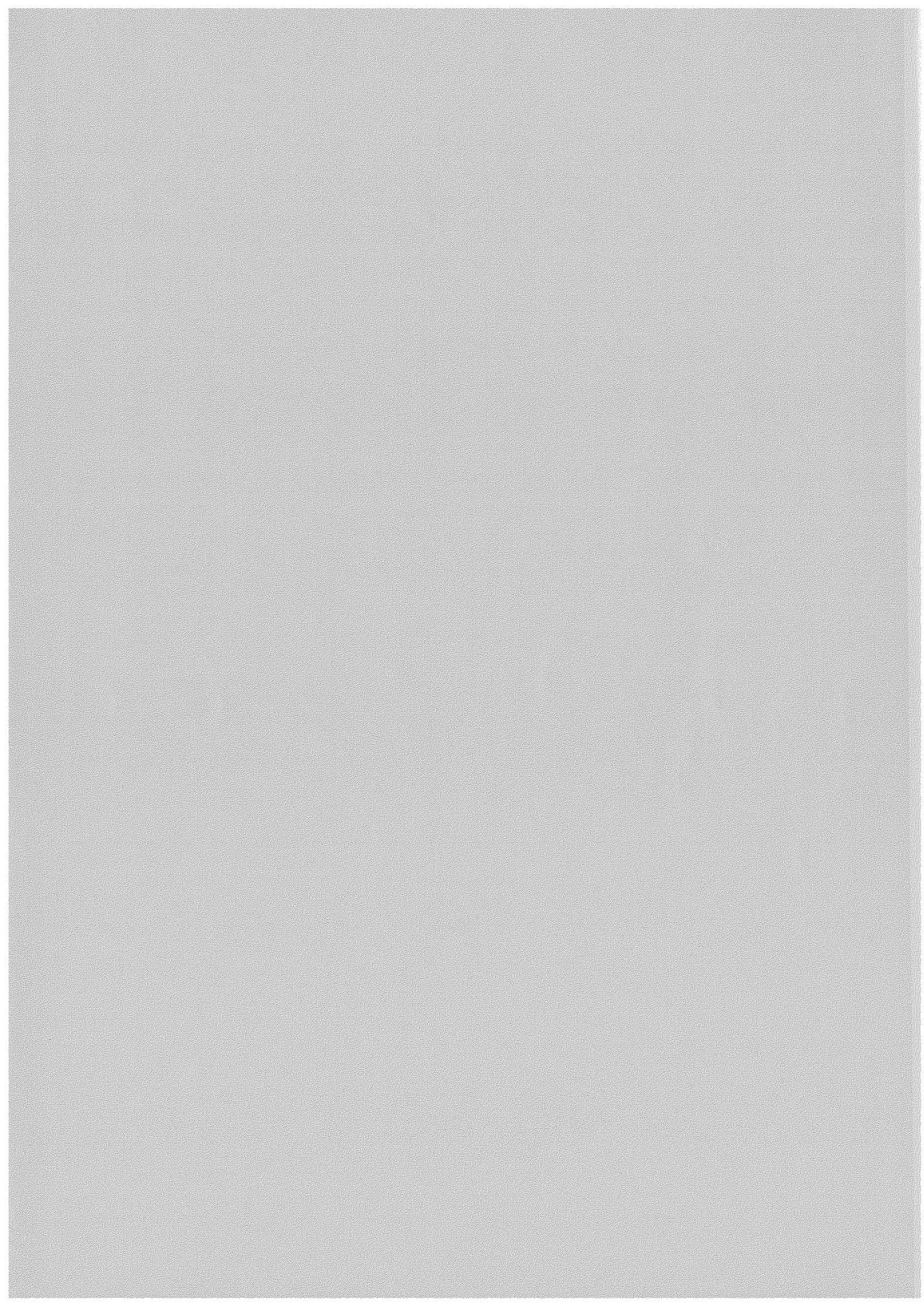
30周年プロジェクト委員長／中野 兼司

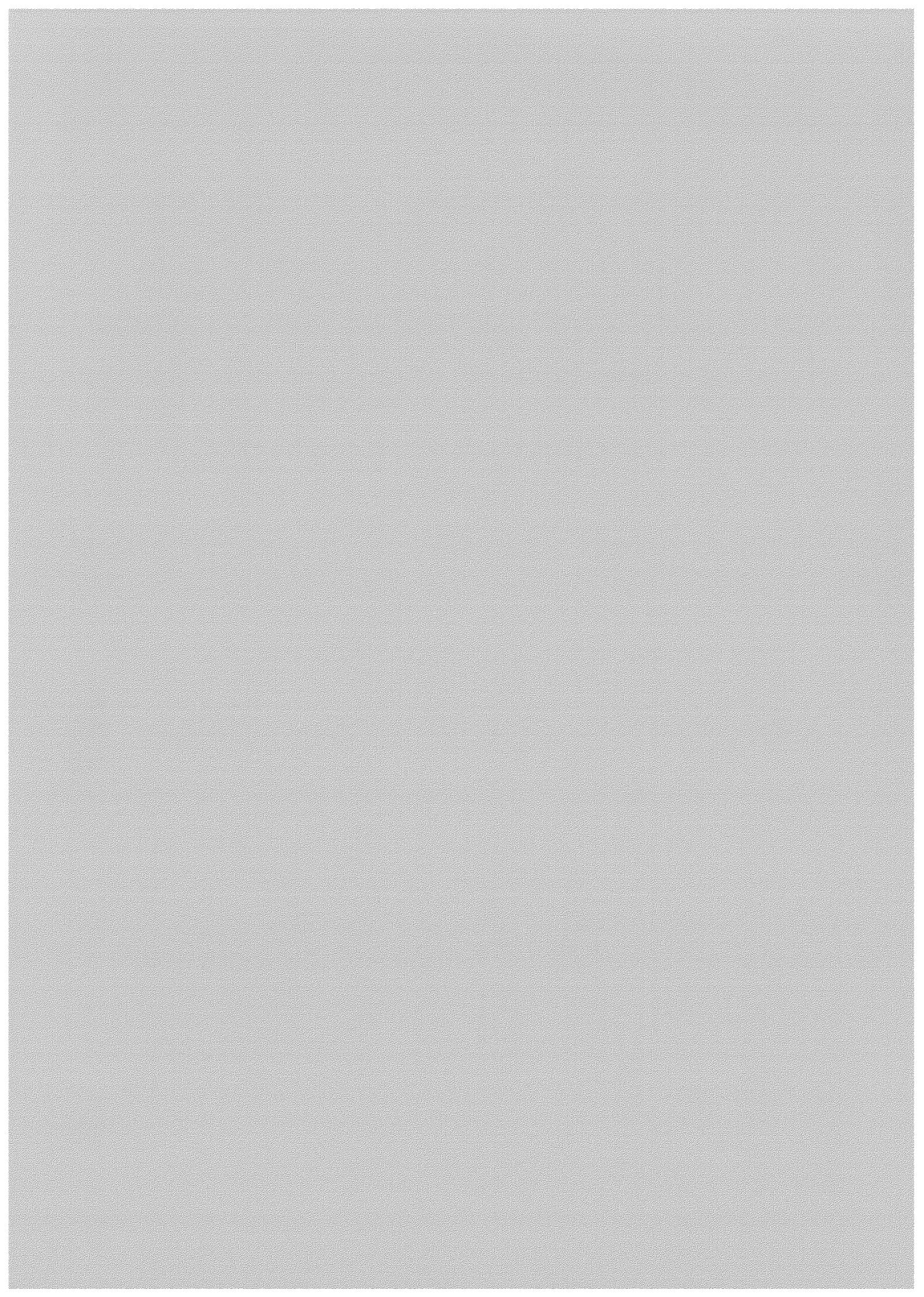
---

## 30周年記念誌

令和3年8月20日 発行

編 集 30周年プロジェクト委員会  
委 員 長 中野 兼司 (株)東伸サービス  
副 委 員 長 新美 三良 (有)三洋サービス  
委 員 近藤 千雅 中部保全(株)  
伊藤 泰雄 (株)ダイセキ  
清水 善実 (株)シミズ  
富田 昭夫 (株)富田商店  
南村 朋幸 大和エンタープライズ(株)  
金田 英和 サンコーリサイクル(株)  
丹羽 庸介 (株)鈴鍵  
鬼頭 秀幸 (有)リサイクリング産業  
金田 琳 サンコーリサイクル(株)  
東久保真弓 (有)愛知環境センター  
堀部 隆司 事務局 専務理事  
小坂 元信 事務局 事務局長  
発 行 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会  
〒460-0022  
名古屋市中区金山二丁目10番9号  
第8フクマルビル5階  
TEL (052)332-0346  
FAX (052)322-0136  
URL <http://www.aisanky.com>  
E-mail [info@aisanky.com](mailto:info@aisanky.com)  
編 集 制 作 有限会社トピック









私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

一般社団法人  
**愛知県産業資源循環協会**

〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目10番9号  
第8フクマルビル5階

TEL(052)332-0346 FAX(052)322-0136

E-mail [info@aisankyou.com](mailto:info@aisankyou.com)

協会ホームページもご覧ください。

<http://www.aisankyou.com>

